

令和7年度

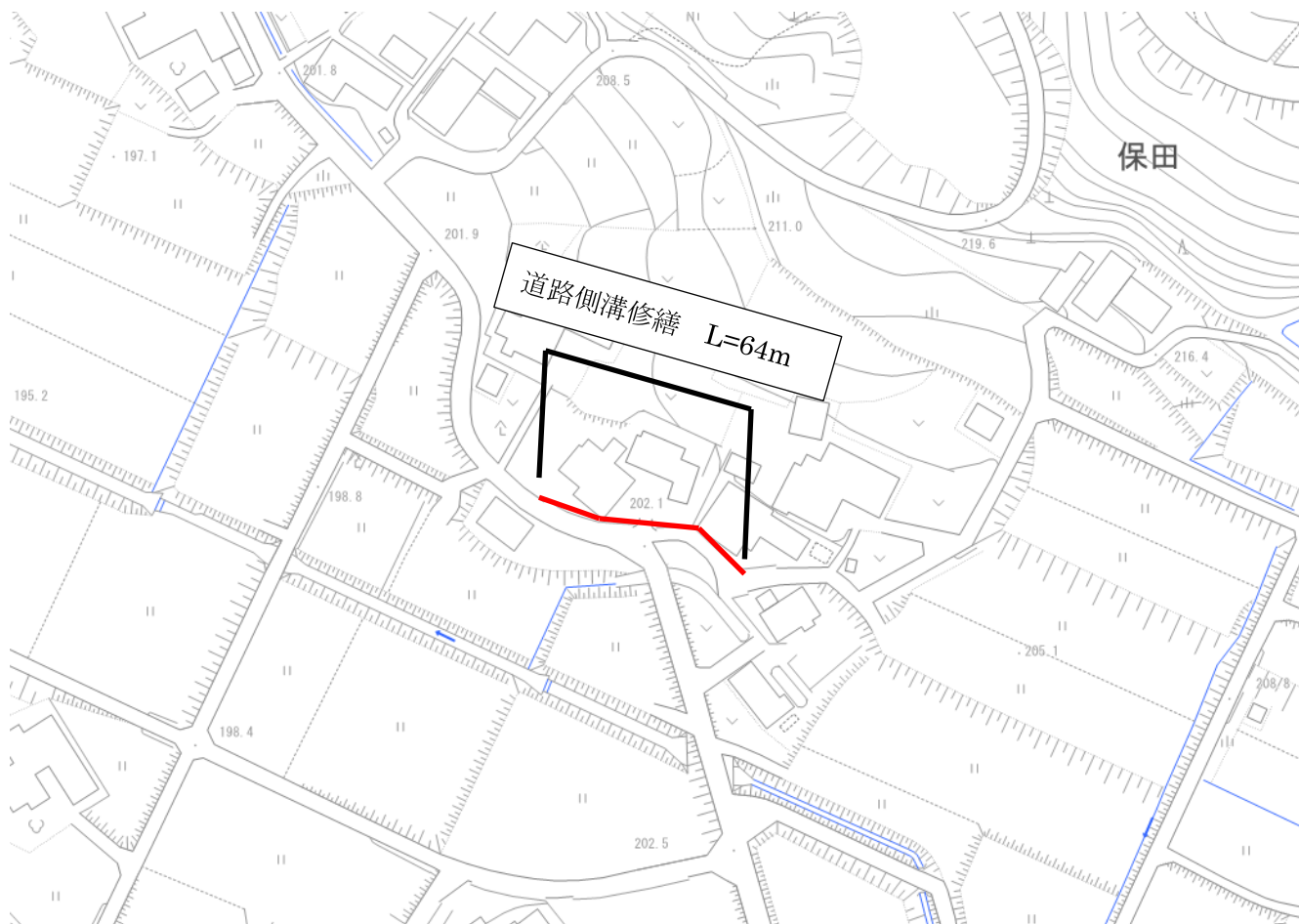
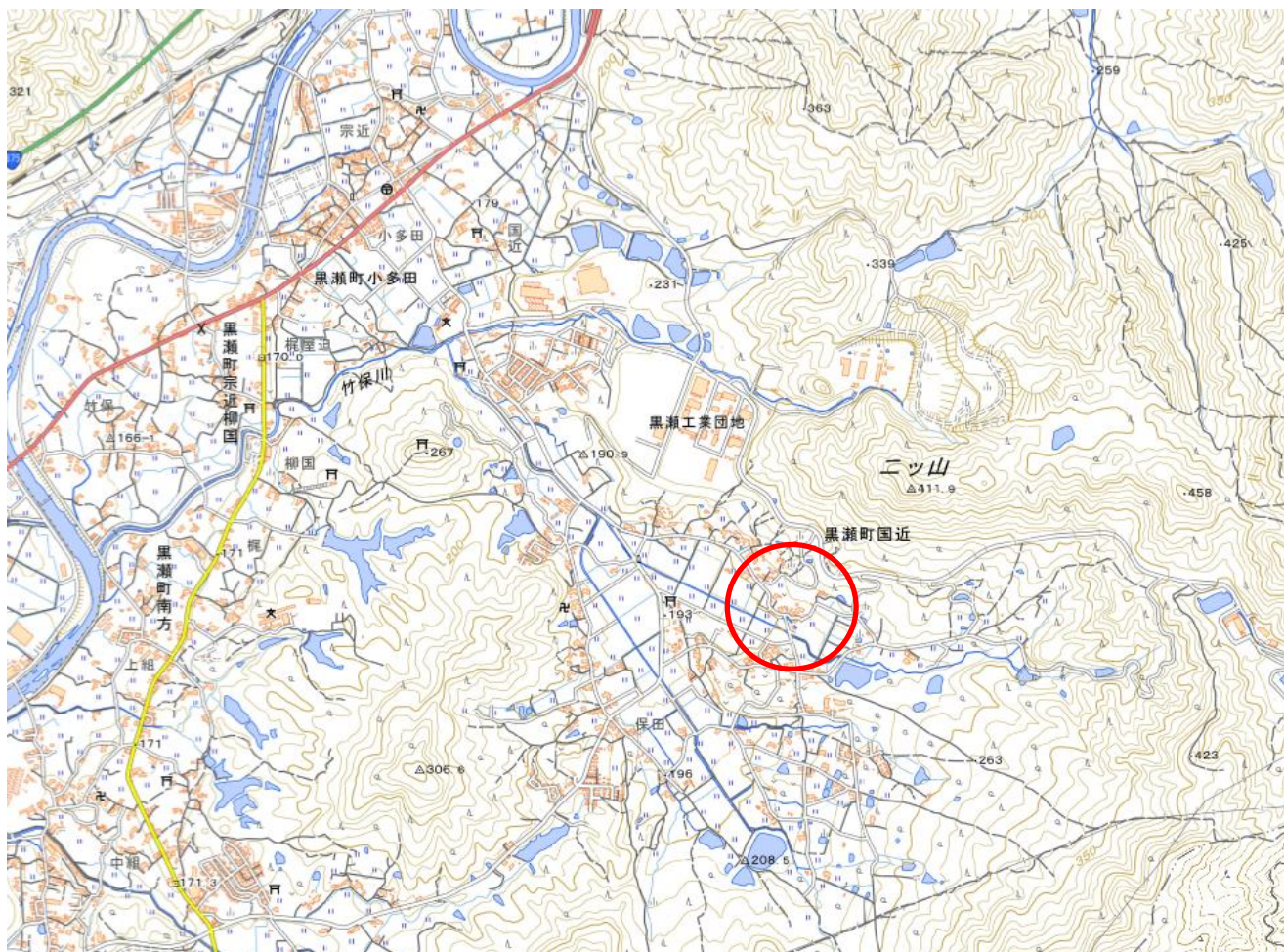
道路維持修繕事業

保田東線修繕工事

仕様書

施 工 場 所 東広島市黒瀬町国近

位置図



特 記 仕 様 書

(令和7年度 道路維持修繕事業 保田東線修繕工事)

第1章 総則

1. 適用
2. 前払金
3. 現場代理人の兼務
4. 現場作業終期日
5. 履行報告
6. 官公庁等への手続き等
7. 工事中情報共有システム（受注者希望型）
8. 熱中症対策に資する現場管理費の補正
9. 主任(監理)技術者及び現場代理人の配置について
10. 法定外の労災保険の付保
11. 週休2日適用工事等
12. 建設副産物の取り扱いについて

第2章 工事材料

1. 見本・品質証明資料
2. 品質規格証明資料等

第3章 施工条件

1. 安全対策
 - (1) 交通安全施設
 - (2) 交通誘導警備員・警戒船・保安要員
2. 工事用道路
 - (1) 一般道路
3. 盛土・埋戻土
 - (1) 流用土(工事内流用)
4. 建設副産物
 - (1) 建設発生土(搬出)（建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地
 - (2) コンクリート殻（有筋）(搬出)
 - (3) コンクリート殻（無筋）(搬出)
 - (4) アスファルト殻(搬出)

第4章 その他

1. 工事関係書類
2. 工事写真
3. 疑義の解決等
4. 施工計画書の記載事項の簡素化
5. 仮設工
6. 暗渠排水の有無（農地）
7. 工事の確認（農地）

特記仕様書

第1章 総則

1. 適用

本工事の施工にあたっては、「土木工事共通仕様書（令和6年8月）広島版（適用区分「広島」及び「広島県」）」及び東広島市制定の第15編下水道編(最新版)に基づいて実施しなければならない。この場合においては、次のとおりとする。

- (1) 「広島県」とあるのは「東広島市」と読み替える。（ただし、第1編第1章第1節1-1-1-25第10項、第1編第1章第2節1-1-2-1第3項、1-1-2-8第1項、1-1-2-9第1項、1-1-2-10第1項、1-1-2-11第1項、第6項、第8項、1-1-2-14第2項、1-1-2-16第1項、第3項、第2編第1章第3節2-1-3-1、第3編第1章第2節3-1-2-3第2項においては読み替えない。）
- (2) 「建設工事請負契約約款」とあるのは「東広島市の建設工事請負契約約款」と読み替える。
- (3) 「土木工事監督規程」とあるのは「東広島市建設工事監督事務取扱要綱」と読み替える。
- (4) 「土木工事検査規程」とあるのは「東広島市建設工事検査規程」と読み替える。
- (5) 「建設工事執行規則第19条の1」とあるのは「東広島市建設工事執行規則第19条第1項」と、「建設工事執行規則第41条の2」とあるのは「東広島市建設工事執行規則第41条第2項」と読み替える。
- (6) 「広島県契約規則第2条の1」とあるのは「東広島市契約規則第2条第1項」と読み替える。
- (7) 「土木工事検査技術基準」とあるのは「東広島市の「土木工事検査技術基準」」と読み替える。
- (8) 「低入札価格調査制度事務取扱要綱」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領」と読み替える。
- (9) 「広島県の建設工事入札参加資格」とあるのは「東広島市の競争入札参加資格」と読み替える。
- (10) 広島県の「建設業者等指名除外要綱」とあるのは東広島市の「建設業者等指名除外基準要綱」と読み替える。
- (11) 「建設工事における低入札価格調査制度事務取扱要綱」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領」と、「建設工事における低入札価格調査制度事務取扱要綱第10条」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領第11条」と読み替える。
- (12) 「県発注工事等における暴力団排除のための契約制限要綱」とあるのは「東広島市建設工事暴力団等排除要綱」と読み替える。

(13) その他

編	章	節	条	見出し	項	特記及び追加仕様事項
1	1	2	5	工事の下請負	3から6まで	適用しない。
1	1	2	14	施工管理	1	適用しない。
1	1	2	16	環境対策	4	適用しない。
1	1	3	3	現場代理人及び主任技術者又は監理技術者	5から6まで	適用しない。
1	1	3	4	下請負及び契約の制限	1(2)	適用しない。
1	1	3	5	主要資材の購入		適用しない。
1	1	3	7	契約後VE工事		適用しない。
1	1	3	9	県産木材の活用	(2)	適用しない。
1	1	3	10	工事現場の現場環境改善等		適用しない。
1	1	3	11	現場環境改善（ウィークリースタンス）の実施	(4)[2]から[7]まで	適用しない。
3	1	1	1	請負代金内訳書		適用しない。
3	1	1	2	工程表		適用しない。
3	1	1	7	工事完成図書の納品	2から6まで	適用しない。
3	1	1	8	技術検査	3から5まで	適用しない。
3	1	2	1	請負代金内訳書		適用しない。
3	1	2	2	工程表		適用しない。
3	1	2	5	工事完成図書の納品		適用しない。
3	1	2	6	提出書類	2	適用しない。
3	1	3	1	工事完成図書の納品		適用しない。
3	1	3	2	技術検査	2	適用しない。

2. 前払金

契約金額が50万円以上の建設工事の場合は前払金を請求することができる。前払金は請負代金の40%以内とする。また、契約に当たって契約約款特約事項第22項により中間前払金を選択するものにあつては、中間前払金は請負代金の20%以内とする。その他、前金払・中間前金払の適用は次の要領による。

- ・建設工事請負代金前金払実施要領
- ・建設工事請負代金中間前金払実施要領
- ・東広島市余裕期間制度適用工事に係る事務取扱要領

3. 現場代理人の兼務

- 1 現場代理人の兼務については、「技術者等の適正配置について」によるものとする。
- 2 発注者は、受注者からの申請に基づき、兼務する各工事の内容、工程等を勘案し、現場代理人の兼務について承認の適否を決定し、承認する場合は現場代理人兼務承認書により、承認しない場合は現場代理人兼務非承認書に承認しない理由を記載の上、速やかに受注者に通知する。
- 3 発注者は現場代理人の兼務について、次に掲げる事由に該当すると認めたときは、現場代理人兼務承認取消書により、その承認を取消すものとする。
 - (1) 兼務を予定する工事の発注者が兼務を承認しないことが明らかになったとき
 - (2) 兼務を承認した日から起算して14日(東広島市の休日を定める条例(平成元年東広島市条例第6号)第1条第1項に規定する市の休日を除く。)を経過した後においても、兼務先の発注者が兼務を承認したことを証する書面の写しが提出されないとき
 - (3) 兼務申請において、重要な事項について虚偽の申告をし、又は重要な事実の申告を行わなかったことが判明したとき
 - (4) 兼務の承認後、重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠ったことが判明したとき
 - (5) 著しい状況の変化により、兼務を承認することが適当でなくなったとき
 - (6) その他、発注者が兼務を承認することが適当でなくなったとき
- 4 重要な事項について虚偽の申告を行う等、不適切な申請を行った者、又は、兼務の承認後に重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠った者に対しては、請負契約に基づく是正措置の請求や指名除外等の必要な措置を行うことがある。

※ 同一町内における町とは西条町、八本松町、志和町又は高屋町にあっては昭和49年4月20日前の町の区域とし、黒瀬町、福富町、豊栄町、河内町又は安芸津町にあっては平成17年2月7日前の町の区域とする。

4. 現場作業終期日

本工事の施工に当たっては、工期末の30日前までに、下記の作業を終了しなければならない。

- ・ 現場作業
- ・ 工事施工内容の判る工事写真等の電子データを提出すること。

なお、現場作業終期日までに適時、速やかに「土木工事共通仕様書(令和6年8月)広島版」第1編1-1-1-22第2項第3号に記載してある出来高が確認できる資料を監督職員に提出しなければならない。

5. 履行報告

本工事は、小規模工事等であるため所定の様式での提出を省略し、「土木工事共通仕様書(令和6年8月)広島版」第1編1-1-1-22第2項第3号に記載の資料を監督職員に提出することにより、履行報告とする。なお、工期延長等が必要となった場合は、報告方法について監督職員と協議するものとする。

6. 官公庁等への手続き等

受注者は、関係官公庁及びその他の関係機関との諸手続きにおいて許可、承諾等を得た場合はその書面(写し)を提出するものとし、更新手続き(許可内容が同じもの)の場合は、届出等の鑑のみとする。

7. 工事中情報共有システム(受注者希望型)

- (1) 本工事は、工事中情報共有システムの対象(受注者希望型)である。
- (2) 工事中情報共有システムの利用するにあたり、発注者に連絡の上、利用申込すること。
- (3) 本工事で使用する情報共有システムは次のとおり。

広島県工事中情報共有システム(一般社団法人 広島県土木協会)

<http://www.hdobokuk.or.jp/koujijyouhoushisutemu2.html>
- (4) 工事中情報共有システム利用に必要な費用は設計金額に含まれている。
- (5) 利用にあたっては「東広島市発注工事における広島県工事中情報共有システム利用実施要領」に基づくこと。
- (6) 運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」に基づくこと。

この場合においては、次のとおりとする。

 - 1) 「1.3.適用する基準」のうち、「土木工事監督規定(広島県)」および「土木工事監督実施要領(広島県)」は「東広島市建設工事監督事務取扱要綱」と、「土木工事検査規定(広島県)」とあるのは「東広島市建設工事検査規定」と、「土木工事検査技術基準(広島県)」とあるのは「土木工事検査技術基準(東広島市)」と読み替えるものとする。
 - 2) 「CAD製図基準(国土交通省)」および「CAD製図基準に関する運用ガイドライン(国土交通省)」は適用しない。
 - 3) 「4.検査」は適用しない。
 - 4) 検査は、発注者と協議のうえ、紙媒体による検査と電子検査の併用とすることができる

ものとする。

- 5) 受注者は、工事中情報共有システムにより処理した工事完成図について、電子成果品として納品するほか、紙の成果品も納品すること。

8. 熱中症対策に資する現場管理費の補正

- (1) 本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して、現場管理費の補正を行う工事である。
- (2) 工期(工事の始期日から工事の終期日までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日、後片付け期間の合計をいう。なお、検査期間13日、年末年始6日間(12月29日～1月3日)、夏季休暇3日間(国民の祝日である山の日の次の日から土曜日、日曜日、振替休日を除く3日間とする。)、工場制作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。)期間中の真夏日の状況に応じて、変更契約時に現場管理費の補正を行うものとする。
- (3) 真夏日とは、日最高気温が30度以上の日をいう。また、日最高暑さ指数(WBGT)が25度以上の日をいう。
ただし、夜間工事のみの場合は、作業時間帯の最高気温または最高暑さ指数(WBGT)を対象とする。
- (4) 気温の計測箇所及び結果は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温または環境省が公表している観測地点の暑さ指数(WBGT)を用いることを標準とする。
- (5) 受注者は、工事期間中における気温の計測箇所、用いる計測値及び計測期間(計測開始日、計測終了予定日)を明記した施工計画書を工事着手前に提出し、計測結果を工事完成時までに監督職員に提出すること。
- (6) 受注者は、計測終了日について、工事完成時までに監督職員と協議するものとする。
- (7) 積算方法は次のとおりとする。
- 1) 補正方法
- ア 受注者より提出された計測結果の資料を基に、補正値を算出し現場管理費率に加算する。
なお、現場管理費率の補正は「積雪寒冷地域で施工時期が冬期となる場合の補正」、「緊急工事の場合」及び本補正値を合計し、2%を上限とする。
- イ 真夏日率＝工期期間中の真夏日÷工期
- ウ 補正値(%)＝真夏日率×1.2
- 2) 補正値の計算結果は、パーセント表示で小数点3位を四捨五入して2位止めとする。
- (8) 受注者より、熱中症対策に資する現場管理費の補正が不要である旨の協議があった場合は、補正を行う工事から対象外とすることができる。
- (9) 検査職員から修補の指示があった場合、修補期間は対象外とする。

9. 主任(監理)技術者及び現場代理人の配置について

東広島市発注工事における主任(監理)技術者及び現場代理人の配置についての取り扱いは、「技術者等の適正配置について」によるものとする。

10. 法定外の労災保険の付保

- 1 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。
- 2 受注者は、建設工事請負契約約款第47条に基づき、法定外の労災保険の契約締結をしたときは、その証券又はこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。
- 3 法定外の労災保険は、政府の労働者災害補償保険とは別に上乗せ給付等を行うことを目的とするものであり、(公財)建設業福祉共済団、(一社)全国建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、(一社)全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、契約を締結しているものとする。

11. 週休2日適用工事等

本工事は、週休2日適用工事(発注者指定型)であり、「東広島市週休2日適用工事等実施要領(最新版)」又は「東広島市週休2日適用工事等実施要領(農林工事)(最新版)」に従うこと。

なお、実施要領に基づき提出する必要のある様式「休日取得計画表」は「検査課HP>施工関連資料>週休2日適用工事等の実施について」に掲載している。

12. 建設副産物の取り扱いについて

本工事における建設副産物の取扱いについては、土木工事共通仕様書1-1-2-11 建設副産物のとおり取り扱うこととする。なお、「再生資源利用計画」、「再生資源利用促進計画」及び「実施書の提出」については、次のとおりとする。

1 再生資源利用計画及び再生資源促進計画

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含

め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画（5の確認結果票を含む）を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。

2 計画の掲示及び公表

受注者は、1の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

現場掲示様式については、次のURLを参考に作成すること。

https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm

3 実施書の提出

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から5年間保存しなければならない。

4 工事現場の管理体制

受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。

5 建設発生土搬出に関する関係法令の手続きの確認及び確認結果票の作成

受注者は、再生資源利用促進計画の作成にあたり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、あらかじめ次に掲げる事項を確認し、また各事項の確認の結果を記載した書面（確認結果票）を作成しなければならない。

※確認結果票は「広島県の調達情報」に掲載している。

なお、対象となる工事は請負代金額が100万円以上、または建設発生土の搬出が500m³以上の工事を対象とする。

(1) 工事現場内の土地の掘削その他の土地の形質の変更が土壤汚染対策法（平成14年法律第53号）第3条第7項又は第4条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

(2) 再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先における建設発生土の搬入に係る行為に関する次に掲げる事項

(1) 当該行為が宅地造成及び特定盛土等規制法（昭和36年法律第191号。以下「盛土規制法」という）第12条第1項、第16条第1項、第30条第1項又は第35条第1項の規定による許可を要する場合にあっては、当該許可を受けている。

(2) 当該行為が盛土規制法第21条第1項、第27条第1項、第28条第1項又は第40条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

(3) 上記(1)、(2)に掲げる事項のほか、再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先が適正であることを確認するために必要な事項その他の建設発生土の搬出に関する事項

6 運搬業者への通知

受注者は、建設発生土の運搬を行う者に対し、再生資源利用促進計画及び確認結果票の内容を通知するものとする。またその内容に変更が生じたときには、速やかに運搬を行う者に通知するものとする。

7 確認結果票の掲示及び公表

受注者は、確認結果票を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

8 確認結果票の保管

受注者は、確認結果票を建設工事の完成後5年間保存するものとする。

9 建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求

受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに当該搬出先の管理者（搬出先が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、次に掲げる事項を記載した受領書の交付を求めるものとする。

(1) 建設発生土の搬出先の名称（搬出先が工事現場である場合は、建設工事の名称。）及び所在地

(2) 建設発生土を搬出先の受注者の商号、名称又は氏名

(3) 建設発生土の搬出元の名称及び所在地

(4) 建設発生土の搬出量

(5) 建設発生土の搬出が完了した日

10 建設発生土の搬入元への受領書の交付

受注者は、建設発生土を利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、速やかに当該搬入元

の管理者（搬入元が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、前号に掲げる事項を記載した受領書を交付するものとする。

11 受領書の内容確認

受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。

12 受領書の保管

受注者は、受領書又はその写しを建設工事の完成後5年間保存するものとする。

13 建設発生土の最終搬出先までの確認

受注者は、建設発生土が再生資源利用促進計画に記載した搬出先（次の(1)から(4)のいずれかに該当する搬出先を除く。）から他の搬出先へ搬出されたときは、速やかに、当該他の搬出先への搬出に関する9(1)～(5)に関する事項を記載した書面を作成するとともに、当該書面を当該再生資源利用促進計画に係る建設工事の完成後5年間保存するものとする。建設発生土が更に他の搬出先へ搬出されたときも、同様とする。

(1) 国又は地方公共団体が管理する場所であって、受入れ完了後に当該国又は地方公共団体が受領書を交付する場合

(2) 受注者の管理下にある他の工事現場で利用するために一時堆積する場合

(3) ストックヤード運営事業者登録規定により国に登録されたストックヤード

(4) 9の受領書の土砂の利用種別が「盛土利用等」である建設発生土受入地（再搬出しないもの）

第2章 工事材料

1. 見本・品質証明資料

受注者は、次に示す材料又は監督職員が指示する材料について、見本又は品質を証明する資料を、材料を使用するまでに監督職員に提出するものとする。また、材料の購入は監督職員の確認を受けた後に行うものとする。

区 分	材 料 名	摘 要
鋼材	異形棒鋼	
セメント及び混和材		
プレキャスト製品	セメントコンクリート製品一般	J I S 製品以外
塗料	塗料一般	
その他	レディーミクストコンクリート	
	アスファルト混合物	事前審査制度の認定混合物を除く

2. 品質規格証明資料等

受注者は、工事に使用した次に示す材料又は監督職員が指示する材料の品質を証明する試験成績表、性能試験結果、ミルシート等の品質規格証明書を監督職員に提出するものとする。

区 分	材 料 名	摘 要
鋼材	異形棒鋼	
セメント及び混和材	セメント系固化材	
プレキャスト製品	セメントコンクリート製品一般	J I S 製品以外
	コンクリートブロック	J I S 製品以外
その他	レディーミクストコンクリート	
	アスファルト混合物	事前審査制度の認定混合物を除く

第3章 施工条件

1. 安全対策

(1) 交通安全施設

内容 施工区域内は終日車両通行止めとし、現場入場を制限し、迂回案内看板等により迂回誘導する。
期間 工事期間中

(2) 交通誘導警備員・警戒船・保安要員

交通誘導警備員 ・交通誘導警備員の配置人数は、工事着手後、規制を要する日から15日間(2人/日)を見込んでいる。ただし、現場条件の変更等により、交通誘導警備員の人数変更が必要となった場合には、事前に監督職員と協議を行った上で変更対象とする。

2. 工事用道路

(1) 一般道路

搬入経路 市道保田東線～工事現場を使用する
使用期間 工事施工期間
使用時間 8時～17時
工事中・後の処置 工事区域への出入口に交通誘導員を配置する

	歩行者通行帯を確保する
維持管理内容	随時清掃を行う

3. 盛土・埋戻土

(1) 流用土(工事内流用)

本工事の施工により発生する土のうち、15m³(地山土量)については当該工事の施工に流用するものと見込んでいる。

4. 建設副産物

(1) 建設発生土(搬出) (建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積))

当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積)のいずれかに搬出するものとする。また、搬出先として、運搬費と受入費(平日の受入費用)の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積)を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用(単価)は変更しない。

ただし、災害復旧工事において、市が公募により決定した「災害発生土民間受入先」と受入について土質や搬出スケジュール等の協議が整えば、搬出先を「災害発生土民間受入先」に変更する場合がある。

当該工事で見込んでいる再資源化施設、運搬距離
砂・砂質土・礫質土

(名称)	大地リサイクルセンター
(所在地)	東広島市西条町大沢字檜ノ村松坂山10175-89
(運搬距離)	4.8 k m

(2) コンクリート殻(有筋)(搬出)

当該工事により発生するコンクリート殻(有筋)は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている施設に搬出するものとする。

搬出先として、運搬費と受入費(平日の受入費用)の合計が最も経済的になる再資源化施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き処分に要する費用(単価)は変更しない。

また、運搬距離は 13.7 k m を見込んでいる。

(3) コンクリート殻(無筋)(搬出)

当該工事により発生するコンクリート殻(無筋)は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている施設に搬出するものとする。

搬出先として、運搬費と受入費(平日の受入費用)の合計が最も経済的になる再資源化施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き処分に要する費用(単価)は変更しない。

また、運搬距離は 13.7 k m を見込んでいる。

(4) アスファルト殻(搬出)

当該工事により発生するアスファルト殻は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている施設に搬出するものとする。

搬出先として、運搬費と受入費(平日の受入費用)の合計が最も経済的になる再資源化施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き処分に要する費用(単価)は変更しない。

また、運搬距離は 2.7 k m を見込んでいる。

第4章 その他

1. 工事関係書類

- (1) 工事関係書類の作成は、東広島市建設工事関係書類作成要領 -土木工事編-によるものとする。
- (2) 工事関係書類の提出は、「契約関係書類」1部、「施工管理書類」は、工事打合せ簿による場合は2部、その他による場合は1部とする。

2. 工事写真

工事写真の撮影に当っては、広島県制定「写真管理基準(令和6年8月)」によるものとし、工事写真の提出部数は、工事写真帳と原本(電子媒体)を各1部提出する。

3. 疑義の解決等

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督職員と協議し決定すること。

4. 施工計画書の記載事項の簡素化

- (1) 本工事は、「施工計画書の記載事項の簡素化要領(平成30年12月1日制定)」により、施工計

画書の記載内容を省略することが出来る。

(2) 施工計画書から記載を省略した事項については、あくまでも記載のみを省略したものであり、当該事項については各種法令等に則り受注者の責において適切に実施する必要がある。

5. 仮設工

仮設工（任意）については、事前に設置方法を施工計画書にまとめ、監督職員へ提出すること。

なお、仮設方法については、正当な理由がある場合は、請負代金額の変更対象とする。

6. 暗渠排水の有無（農地）

現場作業着手前に、当該農地の既設暗渠排水の有無を確認すること。既設暗渠排水がある場合は、位置及び現在の排水機能について地権者等による立会確認を行うこと。

7. 工事の確認（農地）

当該農地の施工箇所及び仮設箇所、作業ヤード等は、現場作業完了後に地権者等による立会確認を行うこと。また、確認結果を監督職員に提出すること。

工事数量総括表

頁0 -0001

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
本工事費					
道路維持		式		1	レベル1
舗装工		式		1	レベル2
区画線工		式		1	レベル3
溶融式区画線		m		28	レベル4
舗装復旧工		式		1	レベル3
上層路盤		m2		36	レベル4
表層		m2		36	レベル4
舗装撤去工		式		1	レベル3
舗装版切断		式		1	レベル4
舗装版破碎(小規模)		m2		44	レベル4
殻運搬		m3		2	レベル4
殻処分		t		5	レベル4
排水構造物工		式		1	レベル2
作業土工		式		1	レベル3
床掘り		式		1	レベル4
埋戻し		式		1	レベル4
土砂等運搬		m3		7	レベル4

工事数量総括表

頁0 -0002

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
残土等処分		m3		7	レベル4
場所打水路工		式		1	レベル3
現場打水路		m		27	レベル4
プレキャストU型側溝	B300 H = 400-700型	m		37	レベル4
側溝蓋	PC4-B300	枚		9	レベル4
構造物撤去工		式		1	レベル2
構造物取壊し工		式		1	レベル3
コンクリート取壊し運搬処理		m3		7	レベル4
運搬処理工		式		1	レベル3
殻運搬		m3		7	レベル4
殻処分		t		17	レベル4
仮設工		式		1	レベル2
水替工		式		1	レベル3
ポンプ排水		式		1	レベル4
仮水路工		式		1	レベル3
架樋工		式		1	レベル4
交通管理工		式		1	レベル3
交通誘導警備員		人		30	レベル4

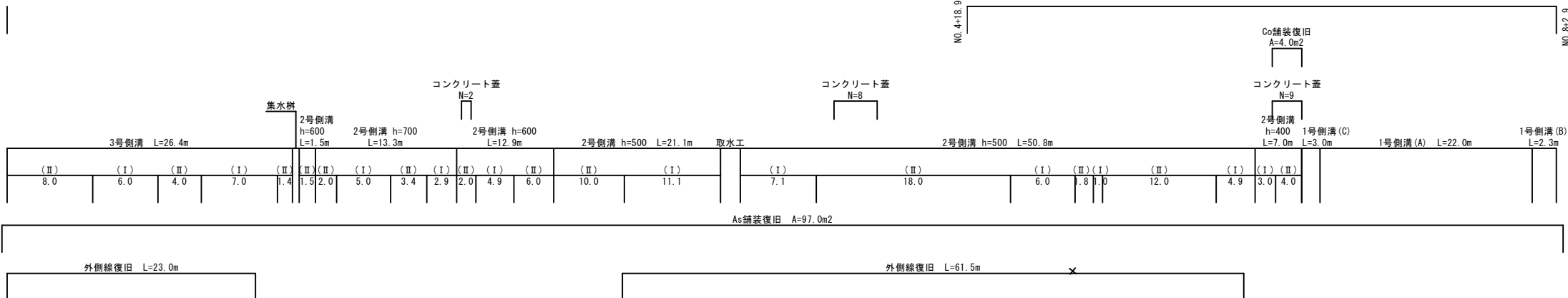
工事数量総括表

頁0 -0003

[illegible]



令和7年度施工区域 L=64m

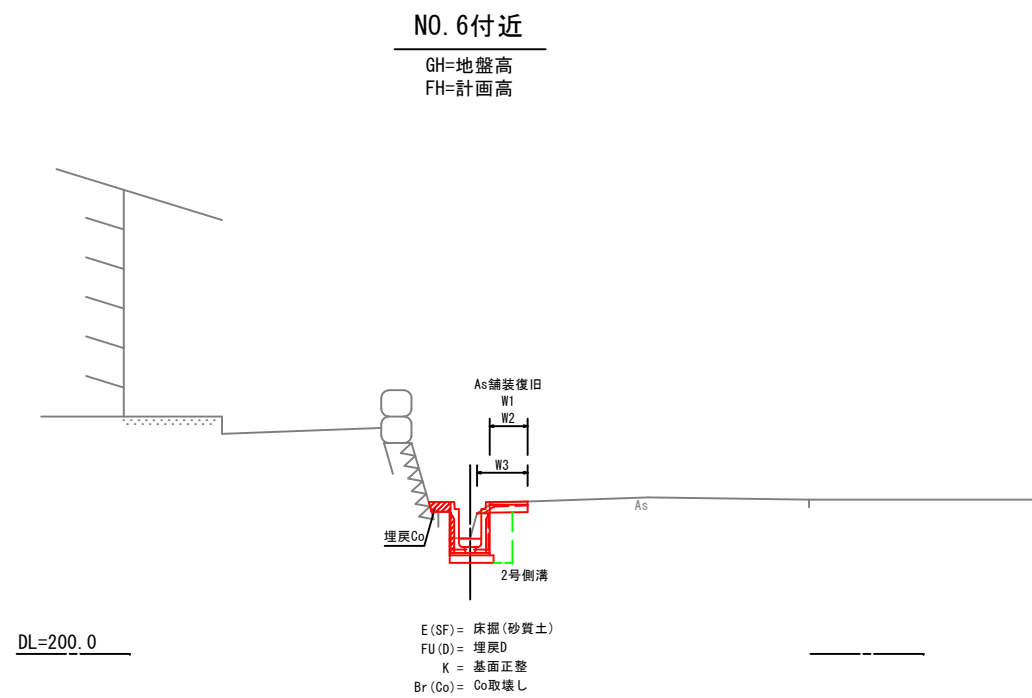
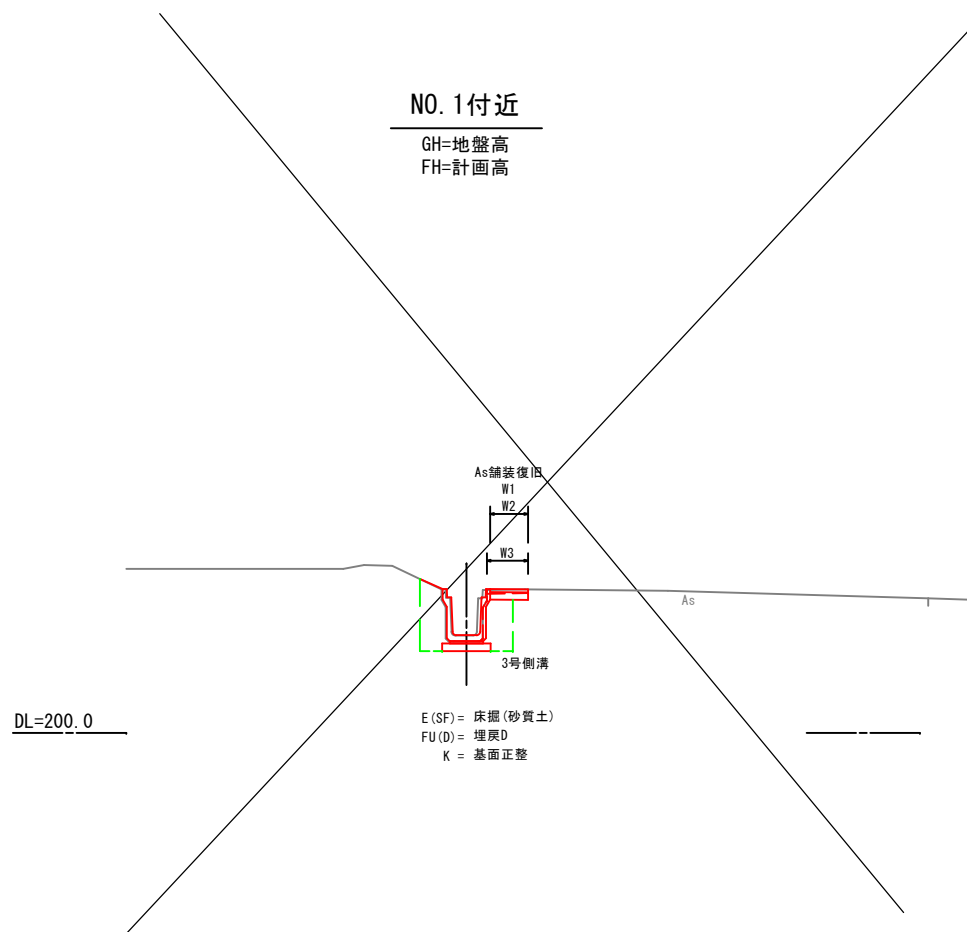


IP	IP方位番号	IA	R	曲	TL	SL	CL	IP間距離	X座標	Y座標
No. 0	141-54-09	5-36-22						1.945	-184135.842	51923.148
IP. 1	138-19-47	5-36-22						1.889	-184137.372	51924.349
IP. 2	142-28-12	5-46-24						6.963	-184138.609	51925.724
IP. 3	143-21-31	5-46-16	50.000	3.835	0.147	7.655	10.429	-184143.897	51930.683	
IP. 4	133-47-32	5-33-59	50.000	4.184	0.175	8.348	5.770	-184152.065	51936.907	
IP. 5	132-46-06	5-45-35						5.769	-184156.059	51941.072
IP. 6	142-46-14	5-45-35	26.000	2.221	0.095	4.431	6.182	-184161.175	51943.726	
IP. 7	151-21-07	5-32-53						1.844	-184166.099	51947.465
IP. 8	140-18-29	5-36-32						3.934	-184167.865	51948.397
IP. 9	185-18-58	13-11-19						1.941	-184171.843	51949.260
IP. 10	193-09-32	12-30-34	100.000	3.502	0.061	7.600	6.984	-184173.584	51949.238	
IP. 11	189-08-53	4-00-39						16.152	-184180.385	51947.648
IP. 12	185-21-35	25-47-17	26.000	5.476	0.570	10.795	6.121	-184196.339	51945.080	
IP. 13	151-45-13	13-36-23						5.502	-184202.254	51946.627
IP. 14	132-53-13	12-30-00	26.000	3.623	0.261	7.700	25.762	-184207.107	51949.231	
IP. 15	123-08-52	12-43-21	26.000	2.899	0.161	5.773	4.082	-184225.238	51956.815	
IP. 16	111-05-35	12-04-17						13.938	-184227.471	51970.232
IP. 17	86-17-43	14-41-57						3.383	-184232.407	51963.738
IP. 18	87-18-08	5-59-35	40.000	3.146	0.123	6.278	7.827	-184232.858	51986.599	
IP. 19	83-41-36	5-36-33						3.031	-184232.499	51984.219
IP. 20	89-39-42	5-31-06						4.029	-184232.168	51997.231
IP. 21	94-52-40	5-13-58						1.488	-184232.134	51701.280
IP. 22	107-01-24	12-08-44	5.000	0.532	0.028	1.060	2.285	-184232.258	51702.713	
IP. 23	132-21-07	26-28-42	5.000	1.176	0.135	2.299	3.179	-184232.827	51704.899	
IP. 24	129-56-42	5-23-24						6.026	-184235.110	51707.209
IP. 25	136-41-29	5-42-46						5.031	-184238.882	51711.827
IP. 26	131-31-56	5-09-32						2.298	-184242.643	51715.278
IP									-184244.139	51716.967

当該路線には、既存資料より道路中央より農業集落排水、道路右側に水道管が埋設されていることが確認できた。水路の布設替えの工事には影響ないと思われるが、十分注意して施工すること。

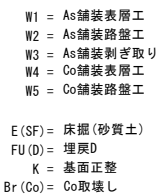
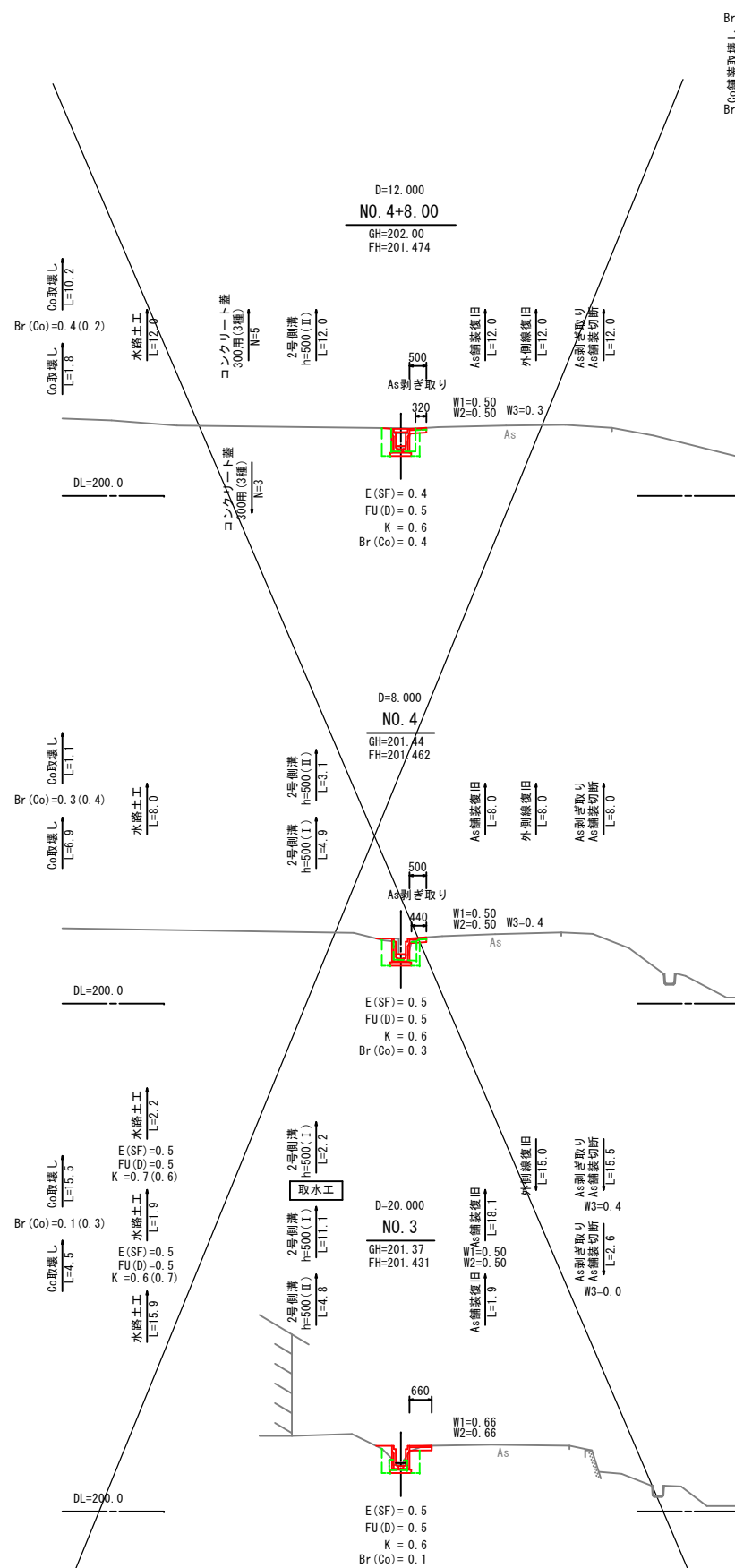
図面番号	1/6	縮尺	S=1:250
工種	道路維持修繕事業		
種別	平面図	番号	1/1
路線名	保田東線		
工事箇所	東広島市黒瀬町国近		
東広島市			



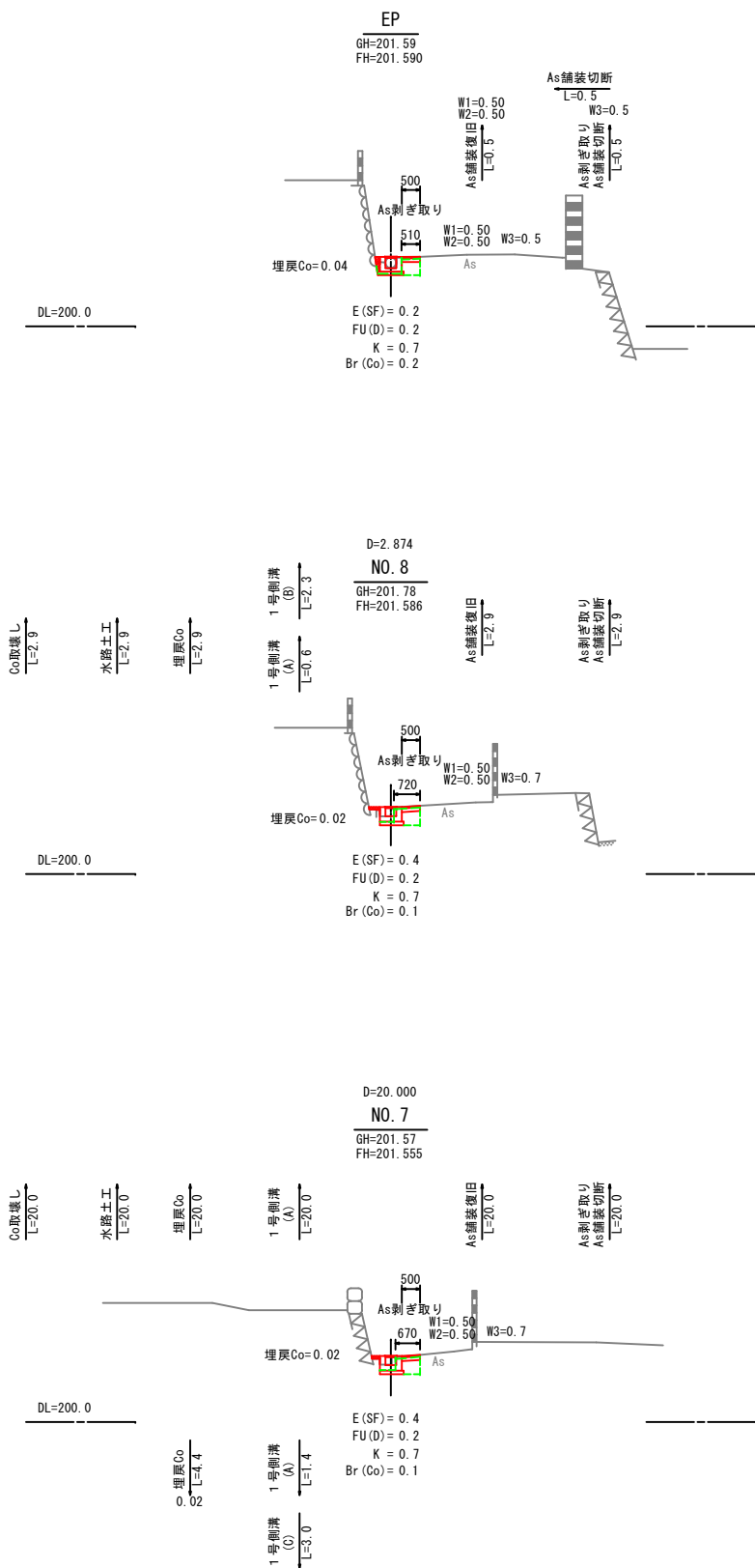


W1 = As舗装表層工
W2 = As舗装路盤工
W3 = As舗装剥ぎ取り
W4 = Co舗装表層工
W5 = Co舗装路盤工

図面番号	3 / 6		縮尺	S=1:50
工 種	道路維持修繕事業			
種 別	標準横断面図		番号	1 / 1
路線名	保田東線			
工事箇所	東広島市黒瀬町国近			
東広島市				



図面番号	4 / 6	縮尺	S=1:100
工 種	道路維持修繕事業		
種 別	横断面図	番号	1 / 2
路線 河川 名	保田東線		
工事箇所	東広島市黒瀬町国近		
東広島市			

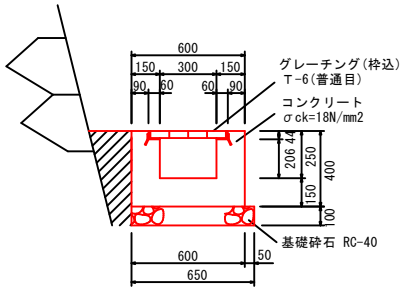


W1 = As舗装表層工
W2 = As舗装路盤工
W3 = As舗装剥ぎ取り
W4 = Co舗装表層工
W5 = Co舗装路盤工

E (SF) = 床掘(砂質土)
FU (D) = 埋戻
K = 基面正整
Br (Co) = Co取壊し

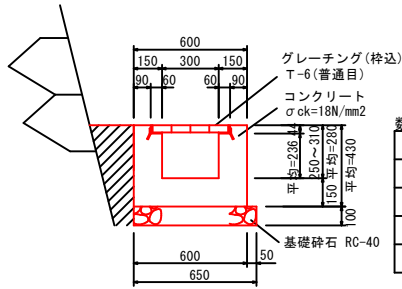
図面番号	5 / 6		縮尺	S=1:100	
工 種	道路維持修繕事業				
種 別	横断面図			番号	2 / 2
路線 河川	保田東線				
工事箇所	東広島市黒瀬町国近				
東広島市					

1号側溝(A) S=1:20



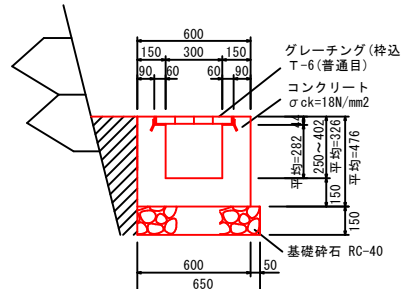
種別	規格	単位	数量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	m ³	1.597
型枠	小型 I	m ²	12.000
基礎碎石	RC-40, t=100mm	m ²	6.500
グレーチング (枠込)	T-6 普通目 L=1.0m	枚	10.000

1号側溝(B) S=1:20



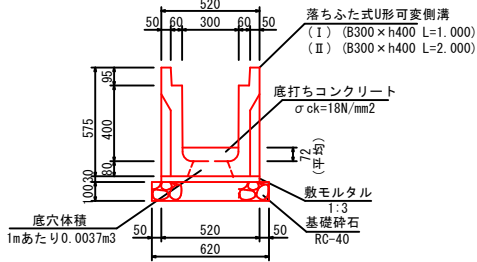
種別	規格	単位	数量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	m ³	1.687
型枠	小型 I	m ²	12.900
基礎碎石	RC-40, t=100mm	m ²	6.500
グレーチング (枠込)	T-6 普通目 L=1.0m	枚	10.000

1号側溝(C) S=1:20



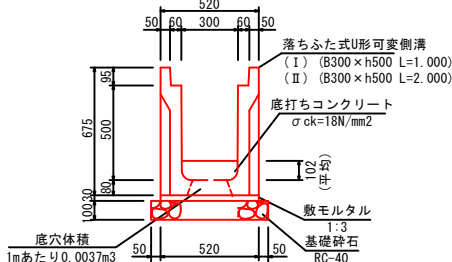
種別	規格	単位	数量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	m ³	1.825
型枠	小型 I	m ²	14.280
基礎碎石	RC-40, t=150mm	m ²	6.500
グレーチング (枠込)	T-6 普通目 L=1.0m	枚	10.000

2号側溝 h=400 S=1:20



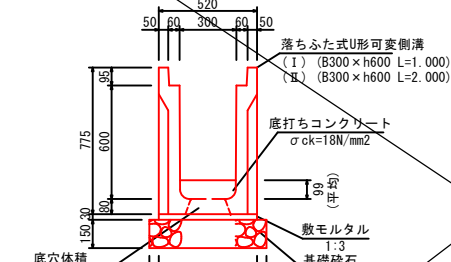
種別	規格	単位	数量
落ちふた式 U形可変側溝	(I) B300×h400 L=1.000 (II) B300×h400 L=2.000	本	10.000 5.000
底打ちコンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	m ³	0.253
敷モルタル	1:3	m ³	0.156
基礎碎石	RC-40, t=100mm	m ²	6.200

2号側溝 h=500 S=1:20



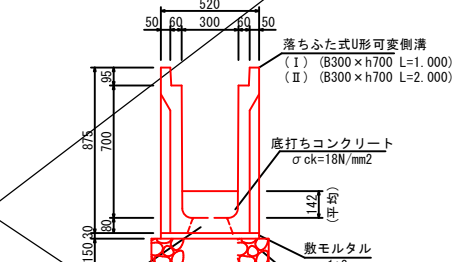
種別	規格	単位	数量
落ちふた式 U形可変側溝	(I) B300×h500 L=1.000 (II) B300×h500 L=2.000	本	10.000 5.000
底打ちコンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	m ³	0.343
敷モルタル	1:3	m ³	0.156
基礎碎石	RC-40, t=100mm	m ²	6.200

2号側溝 h=600 S=1:20



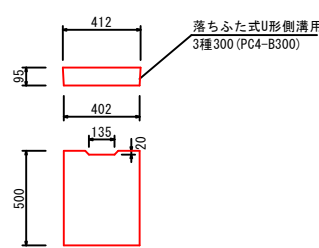
種別	規格	単位	数量
落ちふた式 U形可変側溝	(I) B300×h600 L=1.000 (II) B300×h600 L=2.000	本	10.000 5.000
底打ちコンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	m ³	0.334
敷モルタル	1:3	m ³	0.156
基礎碎石	RC-40, t=150mm	m ²	6.200

2号側溝 h=700 S=1:20

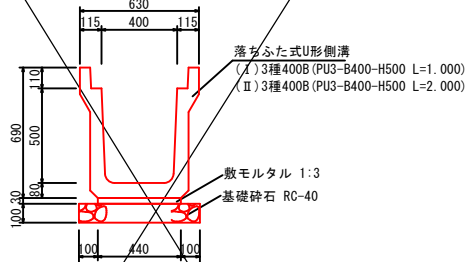


種別	規格	単位	数量
落ちふた式 U形可変側溝	(I) B300×h700 L=1.000 (II) B300×h700 L=2.000	本	10.000 5.000
底打ちコンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	m ³	0.463
敷モルタル	1:3	m ³	0.156
基礎碎石	RC-40, t=150mm	m ²	6.200

コンクリート蓋 S=1:20

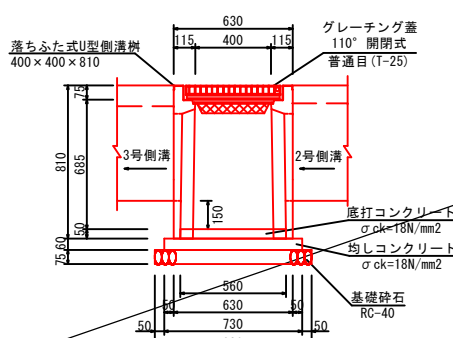
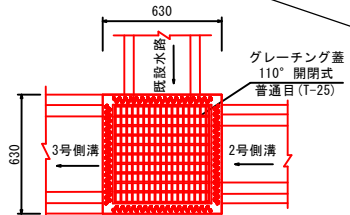


3号側溝 S=1:20



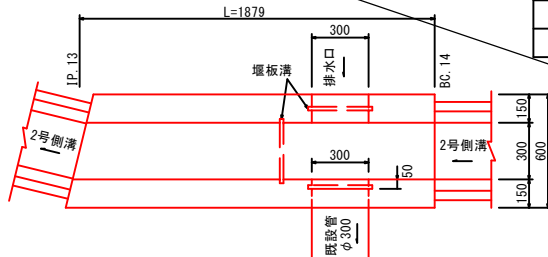
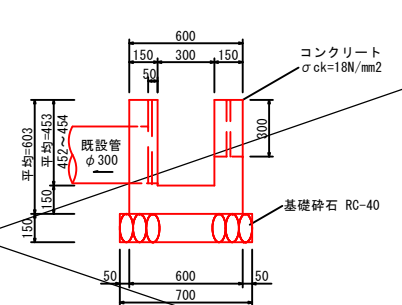
種別	規格	単位	数量
落ちふた式 U形側溝	(I) 3種400B L=1.000 (II) 3種400B L=2.000	本	10.000 5.000
敷モルタル	1:3	m ³	0.132
目地モルタル	1:3	m ³	0.003
基礎碎石	RC-40, t=100mm	m ²	6.400

集水柵 S=1:20



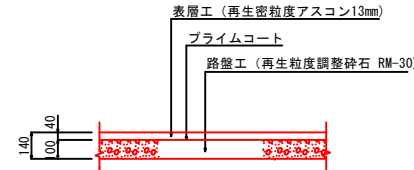
種別	規格	単位	数量
落ちふた式 U形側溝	400×400×810 グレーチング蓋 (T-25 普通目)	式	1.0
底打ちコンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	m ³	0.016
均しコンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	m ³	0.032
均しコン型枠	小型 I	m ²	0.180
基礎碎石	RC-40, t=75mm	m ²	0.690

取水工 S=1:20

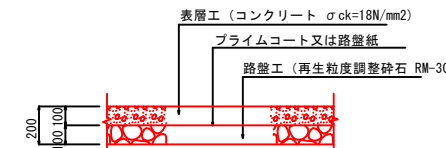


種別	規格	単位	数量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	m ³	0.424
型枠	小型 I	m ²	4.530
基礎碎石	RC-40, t=150mm	m ²	1.320

As舗装復旧 S=1:20



Co舗装復旧 S=1:20



図面番号	6 / 6	縮尺	図示
工 種	道路維持修繕事業		
種 別	構造図	番号	1 / 1
路線 名	保田東線		
工事箇所	東広島市黒瀬町国近		
東広島市			

参 考 図 書

工事名称 ： 令和7年度 道路維持修繕事業
保田東線修繕工事

＜注意事項＞

1 本工事は、数量公開の対象工事です。

2 この数量書は適正な積算のための参考指標として数量を示すものです。

数量は参考数量であり、設計図書ではありません。内容の如何にかかわらず、契約上の拘束をするものではありません。

3 その他

水替え日数は、排水量 0 以上 40m³/h のポンプを常時排水で 15 日を見込んでいる。

また、仮水路工として VU-300 を 63m 見込んでいる。

交通誘導警備員

交通誘導警備員を 30 人見込んでいる。

建設副産物

当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積)のいずれかに搬出するものとしている。搬出先として次の施設を見込んでいる。

種 別	施設の名称	所在地	運搬距離
砂質土	大地リサイクルセンター	東広島市西条町大沢字檜ノ村松坂山 10175-89	4.8km

・当該工事により発生する Co 殻は、再資源化施設一覧表に掲載されている施設に搬出するものとする。搬出先として、次の施設を見込んでいる。

種 別	施設の名称	所在地	運搬距離
有筋 Co 殻 無筋 Co 殻	(有)トラスト	東広島市西条町上三永 348-14	13.7km

・当該工事により発生する Co 殻は、再資源化施設一覧表に掲載されている施設に搬出するものとする。搬出先として、次の施設を見込んでいる。

種 別	施設の名称	所在地	運搬距離
As 殻	光陽産業(株) 黒瀬営業所	東広島市黒瀬町小多田 16-5	2.7km

総括情報表

頁0 -0001

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 45 東広島市(黒瀬) 00-07.05.01(0)		凡例 Co … コンクリート As … アスファルト DT … ダンプトラック BH … バックホウ CC … クローラクレーン TC … トラッククレーン RTC… ラフテレーンクレーン
諸経費体系	1 公共(一般)		
	当世代	前世代	
工種 施工地域・工事場所区分 復興補正区分 週休補正区分 現場事務所等の貸与区分 I C T補正区分 冬期補正係数 緊急工事区分 前払金支出割合区分 契約保証区分	04 道路改良工事 00 補正なし 00 補正なし 09 閉所型・月単位 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0 % 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)		
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

本工事費 内訳表

頁0 -0002

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
道路維持					Y1G01 レベル1
舗装工	1	式			Y1G0103 レベル2
区画線工	1	式			Y1A011117 レベル3
溶融式区画線	1	式			Y1A01111701 レベル4
区画線設置(溶融式) 実線_15cm	28	m			SDT00001 00
舗装復旧工	28	m			単第0 -0001 表 Y1I020403 レベル3
上層路盤	1	式			Y1G01030208 レベル4
上層路盤(車道・路肩部) RM-30 全仕上り厚100mm 1層施工	36	m2			SPK24040234 00
	32	m2			単第0 -0002 表

本工事費 内訳表

頁0 -0003

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
上層路盤(車道・路肩部) RM-30 全仕上り厚100mm 1層施工	4	m2			SPK24040234 00 単第0 -0002 表
表層	36	m2			Y1G01030211レベル4
表層(車道・路肩部) 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 1層当り平均仕上厚40mm	32	m2			SPK24040241 00 単第0 -0003 表
コンクリート打設 1日当り打設量_10m3未満 -	0.4	m3			S2030085 00 単第0 -0004 表
舗装撤去工	1	式			Y1G010302 レベル3
舗装版切断	69	m			Y1G01030201レベル4
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	65	m			SPK24040306 00 単第0 -0005 表
舗装版切断 コンクリート舗装版 コンクリート舗装版厚15cm以下	4	m			SPK24040306 00 単第0 -0006 表
舗装版破碎(小規模)	44	m2			Y1G01030203レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0004

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版破碎積込(小規模土工)					SPK24040018 00
	44	m2			単第0 -0007 表
殻運搬					Y1G01030205レベル4
	2	m3			
殻運搬 舗装版破碎 DID区間無し 運搬距離3.0km以下(2.5km超)					SPK24040151 00
	2	m3			単第0 -0008 表
殻処分					Y1G01030206レベル4
	5	t			
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
処分費 アスファルト殻 ;光陽産業(株)黒瀬営業所					F1000000002 00
	5	t			
排水構造物工					Y1G0104 レベル2
	1	式			
作業土工					Y1G010401 レベル3
	1	式			
床掘り					Y1G01040102レベル4
	1	式			

本工事費 内訳表

頁0 -0005

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
床掘り 土砂 上記以外(小規模)	20	m3			SPK24040015 00 単第0 -0009 表
埋戻し	1	式			Y1G01040103レベル4
埋戻し 土砂 上記以外(小規模)	10	m3			SPK24040020 00 単第0 -0010 表
コンクリート打設 1日当り打設量_10m3未満 -	3	m3			S2030085 00 単第0 -0004 表
土砂等運搬	7	m3			Y1G01040111レベル4
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) D1D区間無し 距離5.0km以下(4.0km超)	7	m3			SPK24040002 00 単第0 -0011 表
残土等処分	7	m3			Y1G01021003レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
処分費 砂質土 ;大地リサイクルセンター	7	m3			F1000000001 00

本工事費 内訳表

頁0 -0006

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
場所打水路工					Y1G010407 レベル3
	1	式			
現場打水路					Y1G01040701レベル4
	27	m			
1号側溝(A) B300*h250 グレーチング蓋					V000000100 00
	22	m			単第0 -0012 表
1号側溝(B) B300*h280 グレーチング蓋					V000000200 00
	2	m			単第0 -0017 表
1号側溝(C) B300*h326 グレーチング蓋					V000000300 00
	3	m			単第0 -0018 表
プレキャストU型側溝 B300 H=400-700型					Y1G01040311レベル4
	37	m			
2号側溝 h=400 () 落ち蓋式U型可変側溝 300*400型					V000000400 00
	3	m			単第0 -0019 表
2号側溝 h=400 () 落ち蓋式U型可変側溝 300*400型					V000000500 00
	4	m			単第0 -0022 表
2号側溝 h=500 () 落ち蓋式U型可変側溝 300*500型					V000000600 00
	12	m			単第0 -0024 表

本工事費 内訳表

頁0 -0007

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
2号側溝 h=500 () 落ち蓋式U型可変側溝 300*500型	18	m			V000000700 00 単第0 -0026 表
側溝蓋 PC4-B300	9	枚			Y1G01040702レベル4
蓋版 落ちふた式U形側溝(JIS_A_5372)3種ふた 300[412×95×500]	9	枚			SDT00017 00 単第0 -0028 表
構造物撤去工	1	式			Y1G0124 レベル2
構造物取壊し工	1	式			Y1G012406 レベル3
コンクリート取壊し運搬処理	7	m3			Y1G01240614レベル4
構造物とりこわし工(無筋構造物) 機械施工	7	m3			SDT00031 00 単第0 -0029 表
構造物とりこわし工(鉄筋構造物) 機械施工	0.1	m3			SDT00033 00 単第0 -0030 表
運搬処理工	1	式			Y1G012416 レベル3

本工事費 内訳表

頁0 -0008

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
殻運搬	7	m3			Y1G01241601レベル4
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間無し 運搬距離14.4km以下(10.9km超)	7	m3			SPK24040151 00 単第0 -0031 表
殻運搬 Co(鉄筋)構造物とりこわし DID区間無し 運搬距離14.4km以下(10.9km超)	0.1	m3			SPK24040151 00 単第0 -0032 表
殻処分	17	t			Y1G01241602レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
処分費 コンクリート殻（無筋） ;(有)トラスト	17	t			F1000000003 00
処分費 コンクリート殻（鉄筋） ;(有)トラスト	0.3	t			F1000000004 00
仮設工	1	式			Y1G0126 レベル2
水替工	1	式			Y1G012606 レベル3

本工事費 内訳表

頁0 -0009

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
ポンプ排水					Y1G01260601レベル4
	1	式			
ポンプ設置・撤去					SHD10037 00
	1	箇所			単第0 -0033 表
ポンプ運転 排水量 0以上40未満 (m3/h) 作業時排水					S1050031 00
	15	日			単第0 -0035 表
仮水路工					Y1G012608 レベル3
	1	式			
架橋工					Y1G01260803レベル4
	1	式			
架橋工 合成樹脂排水材(高密度ポリエチレン管)呼び					S0816 00
	63	m			単第0 -0038 表
交通管理工					Y1G012621 レベル3
	1	式			
交通誘導警備員					Y1G01262101レベル4
	30	人			
交通誘導警備員B					R0369 00
	30	人			

本工事費 内訳表

頁0 -0010

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
* * 直接工事費 * *					
#0020計=支給品等(材料),無償貸付					
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					
* * 共通仮設費計 * *					
* * 純工事費 * *					
現場管理費					
計算情報..... 対象額..... 率.....					
* * 工事原価 * *					
一般管理費率分					前払補正率...
計算情報..... 対象額..... 率.....					
契約保証費					
計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額

本工事費 内訳表

頁0 -0011

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
一般管理費計					
* * 工事価格 * *					
* * 消費税相当額 * *					
計算情報.....					
対象額.....					
率.....					
* * 工事費計 * *					
* * 契約保証費計 * *					

施工単価表

区画線設置(溶融式)

SDT00001

単第0 -0001 表

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_溶融式(手動)【手間のみ】 実線_15cm 時間的制約なし	1,000.000	m			
トラフィックペイント(JISK5665_3種1号) 溶融型(紛体状)ガラスビーズ含有量15～18% 白	598.500	kg			
ガラスビーズ(JISR3301_1号) 粒度0.106～0.850mm	26.250	kg			
プライマー トラフィックペイント接着用	26.250	kg			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	42.000	L			
諸雑費	1	式			
*** 合計 ***	1,000	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 昼間施工 C=1 実線_15cm E=1 アスファルトに設置の場合			B=1 白色 D=1 塗布厚t=1.5mm F=1 時間的制約なし		
G=1 - I=1 -			H=1 - J=1 -(全ての費用)		

施工単価表

頁0 -0013

区画線設置(熔融式)

SDT00001

單第0 -0001 表

実線 15cm

m

当日

[illegible]

施工単価表

頁0 -0014

上層路盤(車道・路肩部)

SPK24040234

単第0 -0002 表

RM-30

全仕上り厚100mm 1層施工

1

m2 当り

機械構成比: 9.88% 労務構成比: 33.13% 材料構成比: 56.99% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 569.67000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m	3.96%		モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m		MTPC00134 MTPT00134
ロードローラ マカダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m	3.13%		ロードローラ マカダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m		MTPC00135 MTPT00135
<賃>タイヤローラ 質量8～20t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.01%		タイヤローラ 質量8～20t		KTPC00007 KTPT00007
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	15.46%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	5.15%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	5.03%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	1.52%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

頁0 -0015

上層路盤(車道・路肩部)

SPK24040234

単第0 -0002 表

RM-30

全仕上り厚100mm 1層施工

1

m2 当り

機械構成比: 9.88% 労務構成比: 33.13% 材料構成比: 56.99% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 569.67000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生粒度調整碎石 30～0mm	53.57%		再生粒度調整碎石 RM-40 [標準数量]全仕上り厚150mm		TTPC00010 TTPT00357
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	2.81%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=5 H=1 RM-30 -(全ての費用)			E=100 全仕上り厚(mm)		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):100.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0016

表層(車道・路肩部)

SPK24040241

単第0 -0003 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当り平均仕上厚40mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.43% 労務構成比:

42.30%

材料構成比: 57.27%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,852.90000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5～0.6t	0.24%		振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5～0.6t		MTPC00047 MTPT00047
振動コンパクタ 前進型 運転質量40～60kg	0.13%		振動コンパクタ 前進型 運転質量40～60kg		MTPC00049 MTPT00049
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	18.71%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	13.40%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	4.05%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(13)	52.51%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPC00024 TTPT00284
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	4.54%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026

施工単価表

表層(車道・路肩部)

SPK24040241

単第0 -0003 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当り平均仕上厚40mm

1

1

2,852.90000

機械構成比: 0.43%

労務構成比: 42.30%

材料構成比: 57.27%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

m2 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.16%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	0.03%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=1 C=7 G=2 I=1	平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 再生密粒度アスファルト混合物(13) 小型車割増有 -(全ての費用)		B=40 E=2 H=1	1層当り平均仕上り厚(mm) PK-3 -	
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):40.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0018

コンクリート打設
1日当り打設量 10m3未満

S2030085

単第0 -0004 表

100 m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	3.200	人			
特殊作業員	7.400	人			
普通作業員	7.700	人			
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	104.000	m3			
レディーミクストコンクリート 小型車割増	104.000	m3			
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25t吊,オペレータ付 排1~3,2011,2014	2.800	日			
諸雑費	11	%			#09
*** 合計 ***	100	m3			
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=1 1日当り打設量_10m3未満 C=2 18-8-40BB			B=1 - E=2 小型車割増有		

施工単価表

頁0 -0019

舗装版切断

SPK24040306

単第0 -0005 表

アスファルト舗装版

アスファルト舗装版厚15cm以下

1 m 当り

機械構成比: 15.42%

労務構成比:

57.13%

材料構成比: 27.45%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

673.26000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッター バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm	10.49%		コンクリートカッター バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm		MTPC00164 MTPT00164
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.60%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	10.55%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	8.73%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッターブレード 自走式切断機用 径45cm(18インチ)	23.29%		コンクリートカッターブレード 径18インチ		TTPC00394 TTPT00394
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	2.83%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

頁0 -0020

鋪裝版切断

SPK24040306

單第0 -0005 表

アスファルト舗装版

アスファルト舗装版厚15cm以下

1

m 当り

機械構成比: 15.42%

勞務構成比：

57.13%

材料構成比: 27.45%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

673.26000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0021

舗装版切断
コンクリート舗装版
機械構成比: 13.36% 労務構成比: 49.56% 材料構成比: 37.08% 市場単価構成比: 0.00%

SPK24040306
コンクリート舗装版厚15cm以下

単第0 -0006 表
標準単価: 1,222.00000
1 m 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm	9.09%		コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm		MTPC00164 MTPT00164
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	16.98%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	9.17%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	7.58%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径45cm(18インチ)	33.48%		コンクリートカッタブレード 径18インチ		TTPC00394 TTPT00394
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	2.45%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

頁0 -0022

鋪裝版切断

SPK24040306

單第0 -0006 表

コンクリート舗装版

コンクリート舗装版厚15cm以下

1 m 当り

機械構成比: 13.36%

勞務構成比：

49.56%

材料構成比: 37.08%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

1,222.00000

[illegible]

施工単価表

舗装版破碎積込(小規模土工)

SPK24040018

単第0 -0007 表

機械構成比:20.80%

労務構成比:71.28%

材料構成比:7.92%

市場単価構成比:0.00%

標準単価:1,690.80000

1

2

当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3	20.80%		小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3		MTPC00077 MTPT00077
運転手(特殊)	71.28%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	7.92%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 -(全ての費用)					

施工単価表

殻運搬
舗装版破碎
機械構成比: 18.57% 労務構成比: 72.35% 材料構成比: 9.08% 市場単価構成比: 0.00%

SPK24040151
DID区間無し 運搬距離3.0km以下(2.5km超)

単第0 -0008 表
1
標準単価: 3,220.30000
m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	18.57%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	72.35%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	9.08%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 舗装版破碎 C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=4 機械積込(小規模土工) D=13 運搬距離3.0km以下(2.5km超)		

施工単価表

床掘り
土砂 上記以外(小規模)
機械構成比: 19.87% 労務構成比: 72.99% 材料構成比: 7.14% 市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0009 表

1
標準単価: m3 当り
2,170.70000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックハウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3	19.87%		バックハウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00083 MTPT00083
運転手(特殊)	39.96%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	33.03%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	7.14%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 E=1 -(全ての費用)			B=5 上記以外(小規模)		

施工単価表

埋戻し
土砂

SPK24040020
上記以外(小規模)

単第0 -0010 表

1
標準単価:

m3 当り
3,871.10000

機械構成比: 9.48%

労務構成比: 86.47%

材料構成比: 4.05%

市場単価構成比: 0.00%

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3	8.90%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00083 MTPT00083
タンパ及びランマ ランマ 質量60～80kg	0.58%		タンパ及びランマ タンパ及びランマ 質量60～80kg		MTPC00048 MTPT00048
普通作業員	49.42%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	19.17%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	17.88%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	3.20%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.85%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001
A=5 D=1 上記以外(小規模) -(全ての費用)			B=1 土砂		

施工単価表

頁0 -0027

埋戻し

土砂

機械構成比: 9.48%

勞務構成比： 86.47%

上記以外(小規模)

材料構成比: 4.05%

市場単価構成比: 0.00%

單第0 -0010 表

1
標準単価：

m3 当り
3,871.10000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0028

土砂等運搬

小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

機械構成比: 24.45%

SPK24040002

DID区間無し 距離5.0km以下(4.0km超)

労務構成比: 63.42%

材料構成比: 12.13%

市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0011 表

1

標準単価:

m3 当り

1,766.50000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	24.45%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00017T1 MTPT00017T1
運転手(一般)	63.42%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	12.13%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 小規模 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=23 距離5.0km以下(4.0km超)			B=5 バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3) D=1 DID区間無し		

施工単価表

頁0 -0029

1号側溝 (A)
B300*H250 グレーチング蓋

V000000100

單第0 -0012 表

10 m 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0030

コンクリート

SPK24040153

単第0 -0013 表

小型構造物 18-8-25(20)BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 3.69%

労務構成比:

37.88%

材料構成比:

58.43%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

34,650.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1~3,2011,2014	3.49%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	11.17%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	10.01%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	7.75%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	6.47%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材20(25) W/C(60%),種別(高炉)	56.64%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPC00003 TTPT00343
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.69%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0 -0031

コンクリート

SPK24040153

单第0 -0013 表

小型構造物 18-8-25(20)BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 3.69%

勞務構成比：

37.88%

材料構成比: 58.43%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

34,650.00000

[illegible]

施工単価表

型枠
一般型枠
機械構成比: 0.00%

SPK24040155
小型構造物
労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0014 表

1
標準単価:

m2 当り
8,483.40000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	43.77%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	31.27%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	11.92%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=2 小型構造物		

施工単価表

頁0 -0033

基礎碎石		SPK24040034		単第0 -0015 表	
碎石の厚さ7.5cmを超え12.5cm以下		RC-40		1	
機械構成比: 5.58%		労務構成比: 77.45%		標準単価: 1,206.10000	
材料構成比: 16.97%		市場単価構成比: 0.00%		m2 当り	
代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1~3,2011,2014	5.55%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	37.13%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	15.71%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	14.81%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	9.27%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャーラン 40~0mm	11.93%		再生クラッシャーラン RC-40		TTPC00008 TTPT00008
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	5.01%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0 -0034

基礎碎石

SPK24040034

單第0 -0015 表

碎石の厚さ7.5cmを超え12.5cm以下

RC-40

機械構成比: 5.58% 労務構成比: 77.45%

材料構成比: 16.97%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：
1

m2 当り
1,206.10000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0035

蓋版

SDT00017

單第0 -0016 表

枚 当り

材料別途 40 重量

[illegible]

施工単価表

頁0 -0036

1号側溝 (B)
B300*H280 グレーチング蓋

V000000200

單第0 -0017 表

10 m 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0037

1号側溝 (C)
B300*H326 グレーチング 蓋

V000000300

单第0 -0018 表

10 m 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0038

2号側溝 h=400 ()
落ち蓋式U型可変側溝 300*400型

V000000400

單第0 -0019 表

10 m 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0039

落ち蓋式U型側溝
B300*H400 L=1.00m

SDT00013

單第0 -0020 表

1 m 当日

[illegible]

施工単価表

頁0 -0040

コンクリート

SPK24040153

単第0 -0021 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-25(20)BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 3.79%

労務構成比:

35.68%

材料構成比:

60.53%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

33,754.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1~3,2011,2014	3.58%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	10.28%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	9.55%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	7.10%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	6.64%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材20(25) W/C(60%),種別(高炉)	58.70%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPC00003 TTPT00343
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.73%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0 -0041

コンクリート

SPK24040153

单第0 -0021 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-25(20)BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 3.79% 勞務構成比:

35.68% 材料構成比: 60.53%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

33,754.00000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0042

2号側溝 h=400 ()
落ち蓋式U型可変側溝 300*400型

V000000500

單第0 -0022 表

10 m 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0043

落ち蓋式U型側溝
B300*H400 L=2.00m

SDT00013

單第0 -0023 表

1 m 当日

[illegible]

施工単価表

頁0 -0044

2号側溝 h=500 ()

V000000600

單第0 -0024 表

落ち蓋式U型可変側溝 300*500型

10

m

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0045

落ち蓋式U型側溝
B300*H500 L=1.00m

SDT00013

單第0 -0025 表

1 m 当日

[illegible]

施工単価表

頁0 -0046

2号側溝 h=500 ()

V000000700

單第0 -0026 表

落ち蓋式U型可変側溝 300*500型

10

m

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0047

落ち蓋式U型側溝
B300*H500 L=2.00m

SDT00013

單第0 -0027 表

1 m 当日

[illegible]

施工単価表

頁0 -0048

蓋版

SDT00017

單第0 -0028 表

落ちふた式U形側溝(JIS A 5372)3種ふた

$$300[412 \times 95 \times 500]$$

枚 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0049

構造物とりこわし工(無筋構造物)

SDT00031

單第0 -0029 表

m3 当り

機械施工

[illegible]

施工単価表

頁0 -0050

構造物とりこわし工(鉄筋構造物)

SDT00033

單第0 -0030 表

m3

当り

機械施工

[illegible]

施工単価表

殻運搬
Co(無筋)構造物とりこわし
機械構成比: 41.69% 労務構成比: 43.88% 材料構成比: 14.43% 市場単価構成比: 0.00%

SPK24040151
DID区間無し 運搬距離14.4km以下(10.9km超)

単第0 -0031 表
1
標準単価: 2,042.30000
m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	41.69%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	43.88%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.43%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=50 運搬距離14.4km以下(10.9km超)		

施工単価表

殻運搬
Co(鉄筋)構造物とりこわし
機械構成比: 41.69% 労務構成比: 43.88% 材料構成比: 14.43% 市場単価構成比: 0.00%

SPK24040151
DID区間無し 運搬距離14.4km以下(10.9km超)

単第0 -0032 表
1
標準単価: 2,501.80000

m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	41.69%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	43.88%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.43%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 Co(鉄筋)構造物とりこわし C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=50 運搬距離14.4km以下(10.9km超)		

施工単価表

頁0 -0053

ポンプ設置・撤去

SHD10037

單第0 -0033 表

箇所 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0054

機-28_バックホウ運転(賃料)
クレーン付2.9t吊 山積0.8m3

S9035

單第0 -0034 表

1 日 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0055

ポンプ運転

S1050031

單第0 -0035 表

排水量 0以上40未満 (m3/h)

作業時排水

目 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0056

建設用ポンプ(水中ポンプ)運転

S9000045

單第0 -0036 表

口径150mm,揚程10m

7.5kW

目 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0057

機-16_発動発電機運転
ディーゼル25kVA

S9469
排出ガス対策型2次基準

單第0 -0037 表

1日目 当日

[illegible]

施工単価表

頁0 -0058

架樋工
合成樹脂排水材(高密度ポリエチレン管)呼び

S0816

單第0 -0038 表

10

m 当り

[illegible]

道路維持修繕事業

保田東線

数量計算書

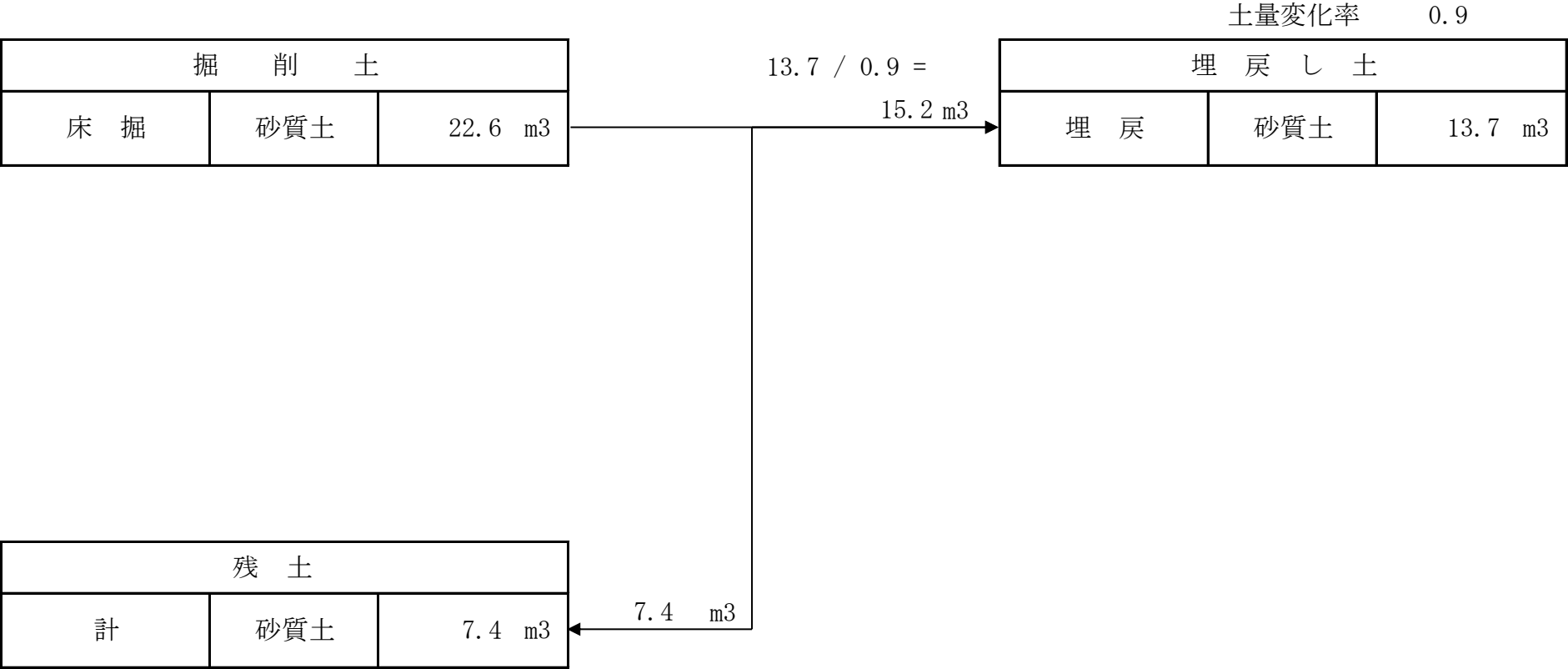
保田東線								
本工事費内訳表								
費目	工種	種別	細別	規格	単位	計上数量	員数	摘要
本工事費								
	道路土工							
		残土処理工						
			残土処理	砂質土	m ³	7	7.4	
	排水構造物工							
		作業土工						
			床掘	砂質土	m ³	20	22.6	
			埋戻	D区分	m ³	10	13.7	
		排水工						
			1号側溝(A)	B300×h250 グレーチング蓋	m	22	22.0	
			1号側溝(B)	B300×h280 グレーチング蓋	m	2	2.3	
			1号側溝(C)	B300×h326 グレーチング蓋	m	3	3.0	
			2号側溝 h=400(Ⅰ)	落ち蓋式U型可変側溝 B300-h400 L=1.00	m	3	3.0	
			2号側溝 h=400(Ⅱ)	落ち蓋式U型可変側溝 B300-h400 L=2.00	m	4	4.0	
			2号側溝 h=500(Ⅰ)	落ち蓋式U型可変側溝 B300-h500 L=1.00	m	12	11.9	
			2号側溝 h=500(Ⅱ)	落ち蓋式U型可変側溝 B300-h500 L=2.00	m	18	17.8	
			コンクリート蓋	PC4-B300	枚	9	9.0	

[illegible]

[illegible]

土工配分表

計第 1 表

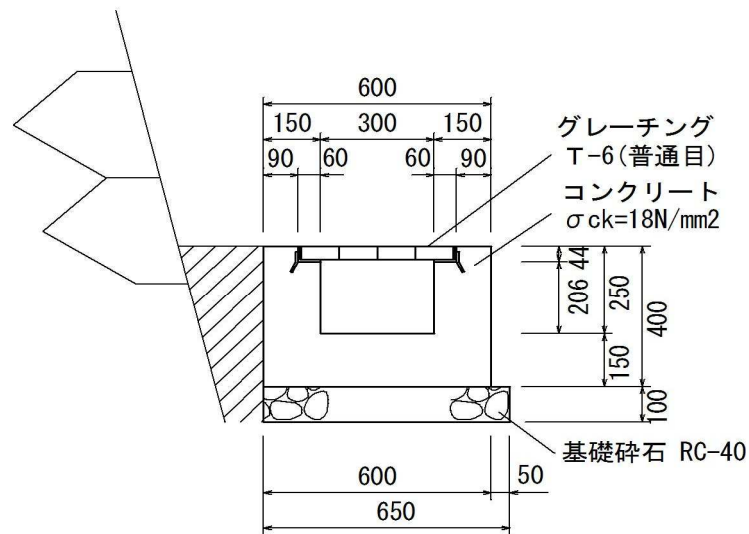


計第 2 表 [排水工] 作業土工 (砂質土) 計 算 書										
測 点	距 離	床堀 E(SF)			埋戻 Fu(D)			基面整正 K(GF)		
		断 面	平 均	立 積	断 面	平 均	立 積	幅	平 均	面 積
No. 0		0.4			0.2			0.6		
		0.4			0.2			0.6		
		0.7			0.5			0.6		
No. 1		0.7			0.5			0.6		
No. 2		0.7			0.7			0.6		
No. 3		0.5			0.5			0.6		
		0.5			0.5			0.6		
		0.5			0.5			0.7		
		0.5			0.5			0.7		
		0.5			0.5			0.6		
No. 4		0.5			0.5			0.6		
No. 4		0.4			0.5			0.6		
No. 5	0.0	0.5			0.5			0.6		
	3.5	0.5	0.50	1.8	0.5	0.50	1.8	0.6	0.60	2.1
		0.3			0.2			0.6		
No. 6	16.5	0.3	0.30	5.0	0.2	0.20	3.3	0.6	0.60	9.9
	15.6	0.3	0.30	4.7	0.2	0.20	3.1	0.6	0.60	9.4
		0.4			0.2			0.7		
No. 7	4.4	0.4	0.40	1.8	0.2	0.20	0.9	0.7	0.70	3.1
No. 8	20.0	0.4	0.40	8.0	0.2	0.20	4.0	0.7	0.70	14.0
EP	2.9	0.2	0.30	0.9	0.2	0.20	0.6	0.7	0.70	2.0
住宅入口舗装 EC. 18		0.1						1.0		
IP. 19	4.0	0.1	0.10	0.4				1.0	1.00	4.0
合 計	m 66.9	m ³ 22.6			m ³ 13.7			m ² 44.5		

計第 3 表			[排水工]			各種構造物-1			計 算 書		
測 点		1号側溝	1号側溝	1号側溝	2号側溝	2号側溝	2号側溝	2号側溝	2号側溝		
		(A)	(B)	(C)	h=400 (Ⅰ)	h=400 (Ⅱ)	h=500 (Ⅰ)	h=500 (Ⅱ)	h=600 (Ⅰ)		
No. 0											
No. 1											
No. 2											
No. 3											
No. 4											
No. 4 + 18.90											
No. 5								1.1			
No. 6							7.0	13.0			
No. 7		1.4		3.0	3.0	4.0	4.9	3.7			
No. 8		20.0									
EP		0.6	2.3								
合 計		m 22.0	m 2.3	m 3.0	m 3.0	m 4.0	m 11.9	m 17.8	m 0.0		

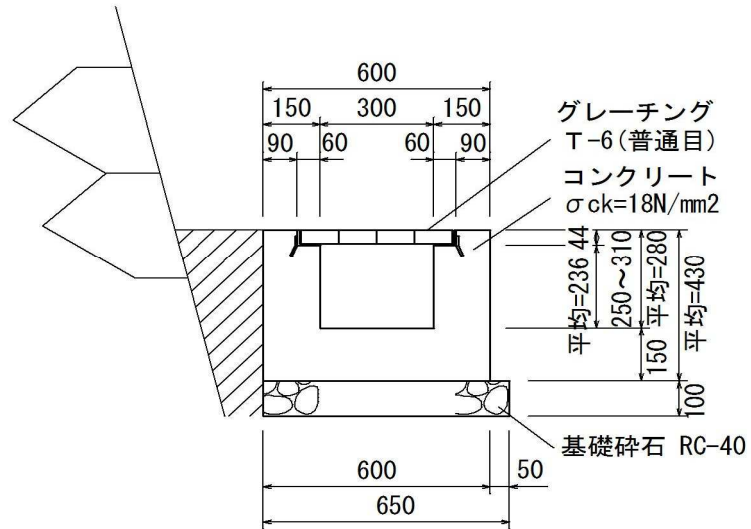
計第 4 表 [排水工] 各種構造物-2 計 算 書								
測 点	2号側溝	2号側溝	2号側溝	3号側溝	3号側溝	集水桝	取水工	コンクリート蓋
	h=600(Ⅱ)	h=700(Ⅰ)	h=700(Ⅱ)	(Ⅰ)	(Ⅱ)	400×400×810		PC4-B300
No. 0								
No. 1								
No. 2								
No. 3								
No. 4								
No. 4 + 8.00								
No. 5								
No. 6								
No. 7								9.0
No. 8								
EP								
合 計	m 0.0	m 0.0	m 0.0	m 0.0	m 0.0	箇所 0.0	箇所 0.0	枚 9.0

構 造 図



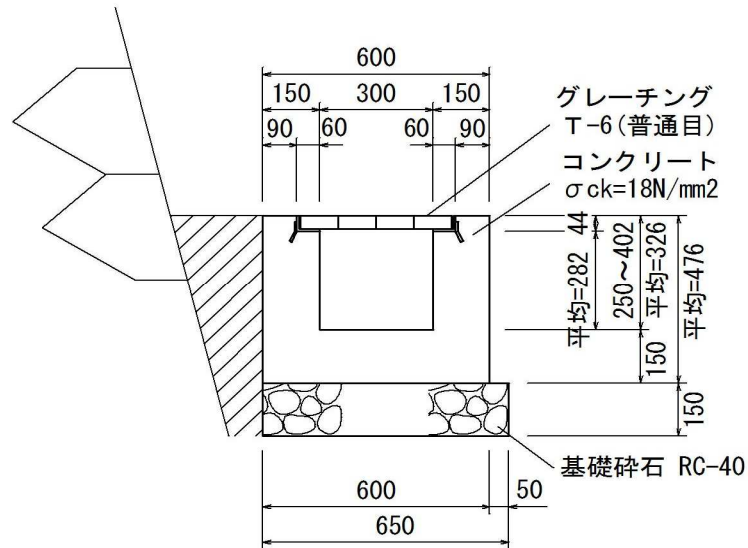
種 別	規 格	算 式	単 位	数 量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	$V = (0.600 \times 0.400 - 0.300 \times 0.206 - 0.420 \times 0.044) \times 10.000 = 1.597$	m^3	1.597
型 枠	小型 I	$A = 0.400 \times 3 \times 10.000 = 12.00$	m^2	12.00
基礎碎石	RC-40 ($t = 100 \text{ mm}$)	$A = 0.650 \times 10.000 = 6.50$ $V = 6.50 \times 0.100 = 0.65$	m^2 m^3	6.50 0.65
グレーチング蓋 (枠込)	T-6 普通目 L=1.0m	$N = 10.000 \div 1.000 = 10.00$	枚	10.00

構 造 図

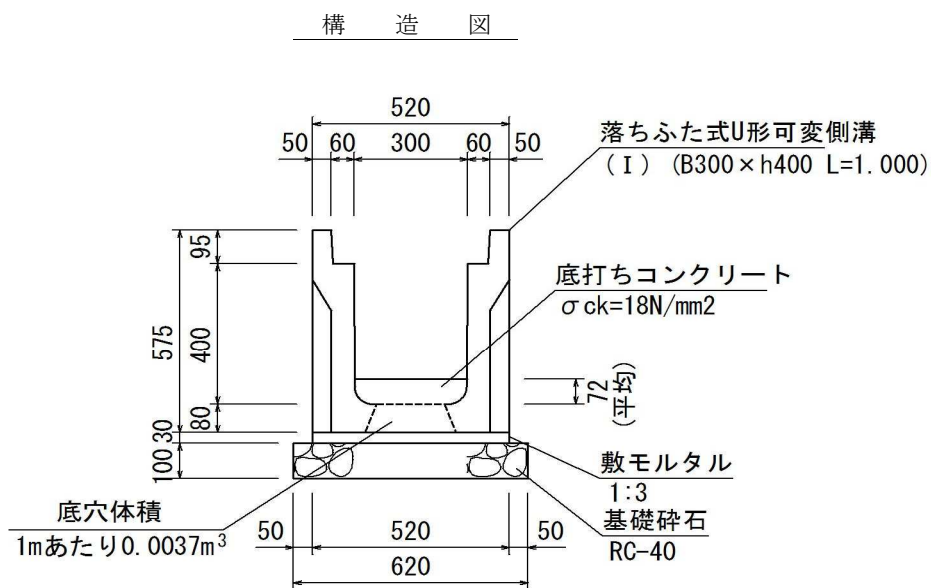


種 別	規 格	算 式	単 位	数 量
コンクリート	σ _{ck} =18N/mm ²	$V = (0.600 \times 0.430 - 0.300 \times 0.236 - 0.420 \times 0.044) \times 10.000 = 1.687$	m ³	1.687
型 枠	小型 I	$A = 0.430 \times 3 \times 10.000 = 12.90$	m ²	12.90
基礎碎石	RC-40 (t= 100 mm)	$A = 0.650 \times 10.000 = 6.50$ $V = 6.50 \times 0.100 = 0.65$	m ² m ³	6.50 0.65
グレーチング蓋 (枠込)	T-6 普通目 L=1.0m	$N = 10.000 \div 1.000 = 10.00$	枚	10.00

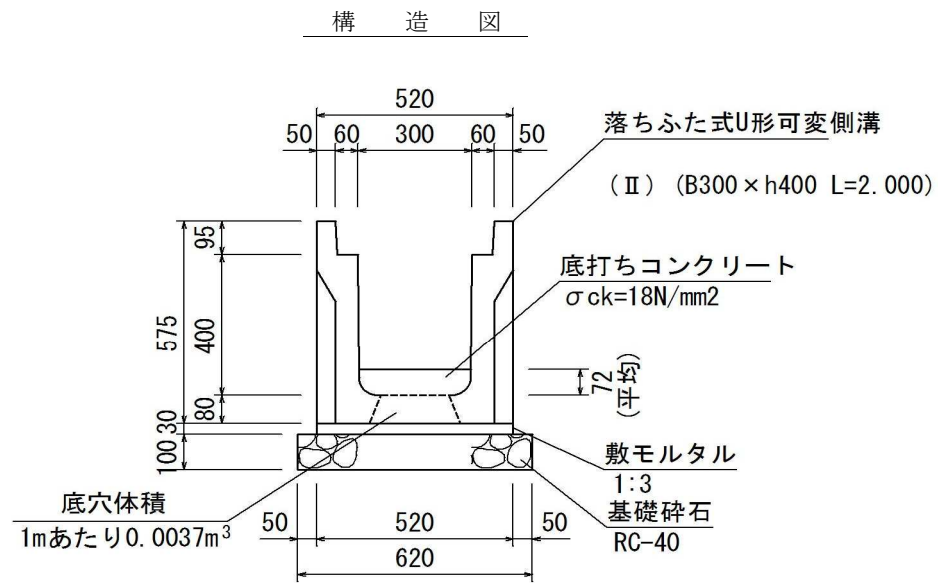
構 造 図



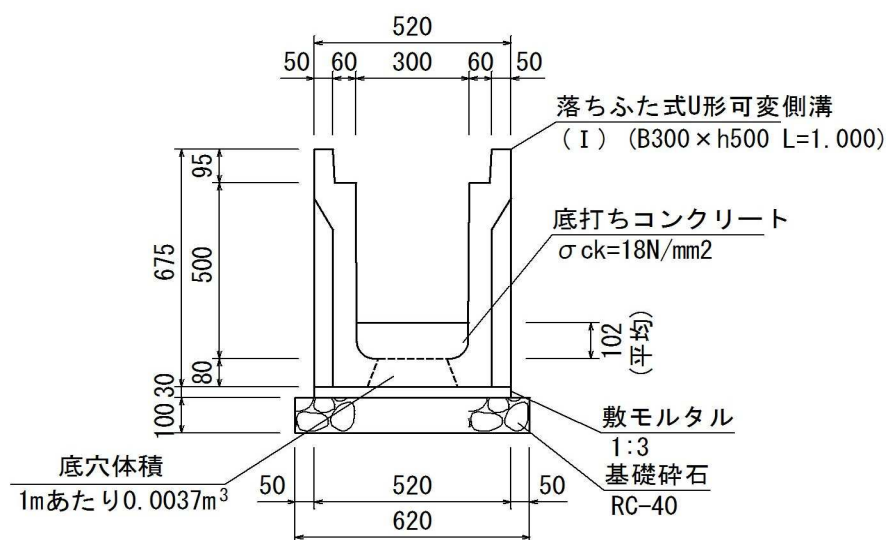
種 別	規 格	算 式	単 位	数 量
コンクリート	σ _{ck} =18N/mm ²	$V = (0.600 \times 0.476 - 0.300 \times 0.282 - 0.420 \times 0.044) \times 10.000 = 1.825$	m ³	1.825
型 枠	小型 I	$A = 0.476 \times 3 \times 10.000 = 14.28$	m ²	14.28
基礎砕石	RC-40 (t= 150 mm)	$A = 0.650 \times 10.000 = 6.50$ $V = 6.50 \times 0.150 = 0.98$	m ² m ³	6.50 0.98
グレーチング蓋 (枠込)	T-6 普通目 L=1.0m	$N = 10.000 \div 1.000 = 10.00$	枚	10.00



種 別	規 格	算 式	単 位	数 量
落ちふた式 U型可変側溝	B300-h400 L=1.000	$N = 10.000 \div 1.000 = 10.00$	本	10.00
底打ち コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	$V = (0.300 \times 0.072 + 0.0037) \times 10.000 = 0.253$	m ³	0.253
敷モルタル	1:3	$V = 0.520 \times 0.030 \times 10.000 = 0.156$	m ³	0.156
基礎碎石	RC-40 (t= 100 mm)	$A = 0.620 \times 10.000 = 6.20$ $V = 6.20 \times 0.100 = 0.62$	m ² m ³	6.20 0.62



種 別	規 格	算 式	単 位	数 量
落ちふた式 U型可変側溝	B300-h400 L=2.000	$N = 10.000 \div 2.000 = 5.00$	本	5.00
底打ち コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	$V = (0.300 \times 0.072 + 0.0037) \times 10.000 = 0.253$	m³	0.253
敷モルタル	1:3	$V = 0.520 \times 0.030 \times 10.000 = 0.156$	m³	0.156
基礎碎石	RC-40 (t= 100 mm)	$A = 0.620 \times 10.000 = 6.20$ $V = 6.20 \times 0.100 = 0.62$	m² m³	6.20 0.62



種 別	規 格	算 式	単 位	数 量
落ちふた式 U型可変側溝	B300-h500 L=1.000	$N = 10.000 \div 1.000 = 10.00$	本	10.00
底打ち コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	$V = (0.300 \times 0.102 + 0.0037) \times 10.000 = 0.343$	m^3	0.343
敷モルタル	1 : 3	$V = 0.520 \times 0.030 \times 10.000 = 0.156$	m^3	0.156
基礎碎石	RC-40 ($t = 100 \text{ mm}$)	$A = 0.620 \times 10.000 = 6.20$ $V = 6.20 \times 0.100 = 0.62$	m^2 m^3	6.20 0.62

舖裝復旧集計表

計第 20 表

[illegible]

計第 21 表		[舗装工]		As舗装復旧				計 算 書		
測 点	距 離	表層			路盤			幅 員	平 均	面 積
		幅 員	平 均	面 積	幅 員	平 均	面 積			
		0.50			0.50					
No. 0		0.50			0.50					
No. 1		0.50			0.50					
		0.50			0.50					
		0.70			0.70					
		0.60			0.60					
		1.50			1.50					
No. 2		1.59			1.59					
		1.75			1.75					
		1.65			1.65					
		0.90			0.90					
No. 3 + 15.00		0.66			0.66					
		0.50			0.50					
No. 4		0.50			0.50					
No. 4 + 18.90	0.0	0.50			0.50					
No. 5	1.1	0.50	0.50	0.6	0.50	0.50	0.6			
No. 6	20.0	0.50	0.50	10.0	0.50	0.50	10.0			
No. 7	20.0	0.50	0.50	10.0	0.50	0.50	10.0			
No. 8	20.0	0.50	0.50	10.0	0.50	0.50	10.0			
EP	2.9	0.50	0.50	1.5	0.50	0.50	1.5			
	0.5	0.50	0.50	0.3	0.50	0.50	0.3			
合 計		m 64.5	m ² 32.4		m ² 32.4					

計第 22 表		[舗装工] Co舗装復旧						計 算 書		
測 点	距 離	表層			路盤			幅 員	平 均	面 積
		幅 員	平 均	面 積	幅 員	平 均	面 積			
EC. 18		1.00			1.00					
IP. 19	4.0	1.00	1.00	4.0	1.00	1.00	4.0			
合 計	m 4.0	m ² 4.0			m ² 4.0					

計第 23 表 [舗装工] 各種構造物 計 算 書								
測 点	区画線							
	白 巾=15cm							
No. 0								
No. 1								
No. 2								
No. 3								
No. 4								
No. 4 + 18.90								
No. 5	1.1							
No. 6	20.0							
No. 7	6.5							
No. 8								
EP								
合 計	m 27.6							

計第 24 表 [雑工事] 埋戻しコンクリート 計 算 書										
測 点	距 離	埋戻しコンクリート								
		断 面	平 均	立 積						
		0.07								
No. 6	16.5	0.07	0.070	1.16						
	11.4	0.07	0.070	0.80						
		0.02								
No. 7	4.4	0.02	0.020	0.09						
No. 8	20.0	0.02	0.020	0.40						
EP	2.9	0.04	0.030	0.09						
合 計	m 55.2	m ³ 2.5								

殼 処 分 集 計 表

計第 25 表

[illegible]

[構造物取壊工]						As舗装版剥取			計　算　書		
測　　 点		距 離	W3 t=5cm 幅 平 均 面 積						幅 平 均 面 積		
No.	0		0.5								
No.	1		0.5								
			0.5								
			0.0								
			0.0								
			0.4								
No.	4		0.4								
No.	4 + 18.90	0.0	0.3								
No.	5	1.1	0.6	0.45	0.5						
No.	6	20.0	0.7	0.65	13.0						
No.	7	20.0	0.7	0.70	14.0						
No.	8	20.0	0.7	0.70	14.0						
EP	2.9	0.5	0.60	1.7							
	0.5	0.5	0.50	0.3							
合　　計		m 64.5	m ² 43.5								
		t= 5cm V= 43.5×0.05=	m ³ 2.2								

計第 27 表 [構造物取壊工] 無筋コンクリート取壊 計 算 書													
測 点	距 離	Br (Co)			断 面	平 均	立 積	断 面	平 均	立 積	断 面	平 均	立 積
		断 面	平 均	立 積									
水路部分		0.1											
No. 2		0.1											
No. 3		0.1											
		0.1											
		0.3											
No. 4		0.3											
		0.3											
		0.4											
No. 4 + 8.00		0.4											
		0.4											
+ 18.90	0.0	0.2											
No. 5	1.1	0.2	0.20	0.2									
	3.5	0.2	0.20	0.7									
		0.1											
No. 6	16.5	0.1	0.10	1.7									
No. 7	20.0	0.1	0.10	2.0									
No. 8	20.0	0.1	0.10	2.0									
EP	2.9	0.2	0.15	0.4									
住宅入口舗装 EC. 18		0.1											
IP. 19	4.0	0.1	0.10	0.4									
合 計		m 68.0	m ³ 7.4										

[illegible]

[illegible]